

DAAD
日本

Deutscher Akademischer Austauschdienst
ドイツ学術交流会

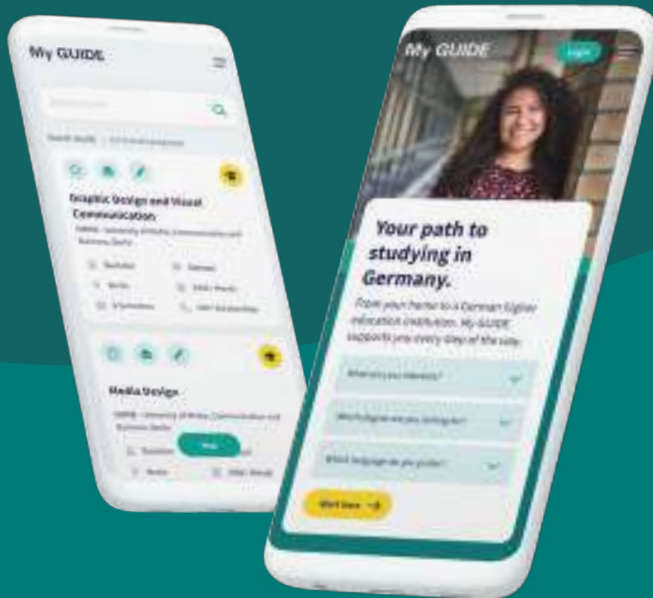
ドイツの 大学で学ぶ

外国人学生のための
実践ガイド



交流で
世界が変わる

Studying in Germany?



My GUIDE offers

- ✓ Over 20.000 degree programmes
- ✓ Immediate eligibility check
- ✓ Direct contact with German universities
- ✓ Checklist feature for your study planning

Register now

myguide.de



Deutscher Akademischer Austauschdienst
German Academic Exchange Service

SPONSORED BY THE



Federal Ministry
of Education
and Research



DAAD
日本

Deutscher Akademischer Austauschdienst
ドイツ学術交流会

ドイツの大学で学ぶ

外国人学生のための実践ガイド

第8版

目次

ドイツの大学への留学を応援します！	8
1 留学前の準備	10
1.1 ドイツの大学	10
大学の種類とその特徴	12
国立大学と私立大学	12
ドイツの現在の学生数	13
1.2 ドイツの大学の課程と学位	14
ドイツで最も一般的な学位	15
博士号取得：方法と関連情報	15
ドイツ語以外の言葉で学ぶ：インターナショナルプログラム	18
ジョイントディグリープログラム又はデュアルディグリープログラムで 国境を越えて学ぶ	18
留学せずにドイツの学位を取得： ハイブリッド課程及びオンライン課程	18
1.3 入学要件及び出願方法	20
ドイツの大学で学ぶために必要な卒業証明書	20
現在お持ちの卒業証明書等がドイツの大学入学資格と同等とは 認められない場合	21
ドイツ語力のレベル	22
ドイツ留学に向けた更なる準備について	24
ドイツの大学への出願方法	26
1.4 事前に必要な手続き	31
留学費用	31
健康保険	36
ビザ	37

1.5	渡航前に部屋を探すためのヒント	40
	ドイツの大学生向け住居の種類	40
	住居が決まらないままドイツに到着した場合	43
	部屋探しのための詳細情報	44
1.6	チェックリストとスケジュール	46
2	ドイツ到着直後にすべきこと	50
2.1	International Office 最も頼りになる窓口	50
2.2	大学での学籍登録	51
2.3	新居で最初にやるべき手続き	52
	2.3.1 住民登録事務課	53
	2.3.2 外国人局	53
2.4	履修計画	54
2.5	その他のサポート	57
3	留学生活のための役立つヒント	60
3.1	人とつながり、新しい友達を作る	60
3.2	ドイツでドイツ語を学ぶ	61
3.3	インターンシップやアルバイトで実務経験を積む	62
	3.3.1 インターンシップ	63
	3.3.2 アルバイト	64
3.4	留学後もドイツに残るには？	65
	3.4.1 関係する法律	66
	3.4.2 ドイツでの就職の可能性	67
3.5	困ったとき	68
	3.5.1 病気になった場合	68
	3.5.2 心理的ストレスの対処	69
	3.5.3 日常生活における安全	70

さあ、ドイツの大学に向けて出発！	71
統計：ドイツの大学で学ぶ外国人学生	72
DAAD について：目標、活動、プログラム	76
アドレスとリンク集	78
索引	80



ドイツの大学への留学を 応援します！

外国の大学で勉強することは刺激的ですが、チャレンジでもあります。慣れ親しんだ環境を離れて、異なる文化を持つ別の国で生活するのですから。

ドイツには大小さまざまな都市に数多くの大学があります。ドイツの大学は世界的に高い評価を得ており、優れた研究で知られています。加えて、学修環境が非常に優れており、費用も世界の他の地域と比べて低いです。国際的に有名な多くの研究機関もあり、そこで博士号取得を目指すこともできます。

また、現在のところドイツで大学を卒業した後もドイツ滞在を続けられる可能性も高いです。ドイツでは今、高度人材が求められており、ドイツの大学の卒業生は長期滞在許可を取得しやすくなっています。

現在、他の国と比べてドイツで学ぶ外国人学生数は多くなっており、その数は約 350,000 人にのぼります。これはドイツの全学生数の約 12 パーセントに相当します。ドイツには多くの外国人学生の仲間がいるのです。

どのような留学にせよ留学前には準備すべきことがたくさんあります。このパンフレットはそれを手助けするものです。もちろん、一人一人の個々の疑問点に対応できるわけではありませんので、あなたの国の DAAD 事務所にも相談してください。経験豊富なスタッフが、ドイツでの滞在を最適に準備できるよう喜んでお手伝いいたします。

留学の準備は非常に複雑で時間がかかるものだと思うかもしれませんが。しかし外国で学ぶことはあなたの一生にとって大きな経験となります。数年後にこの時間を振り返った時、留学が大きなメリットをもたらしてくれたことを実感することでしょう。

ドイツでエキサイティングな経験を、すばらしい時間を過ごせますように！皆さんのご成功をお祈りします！

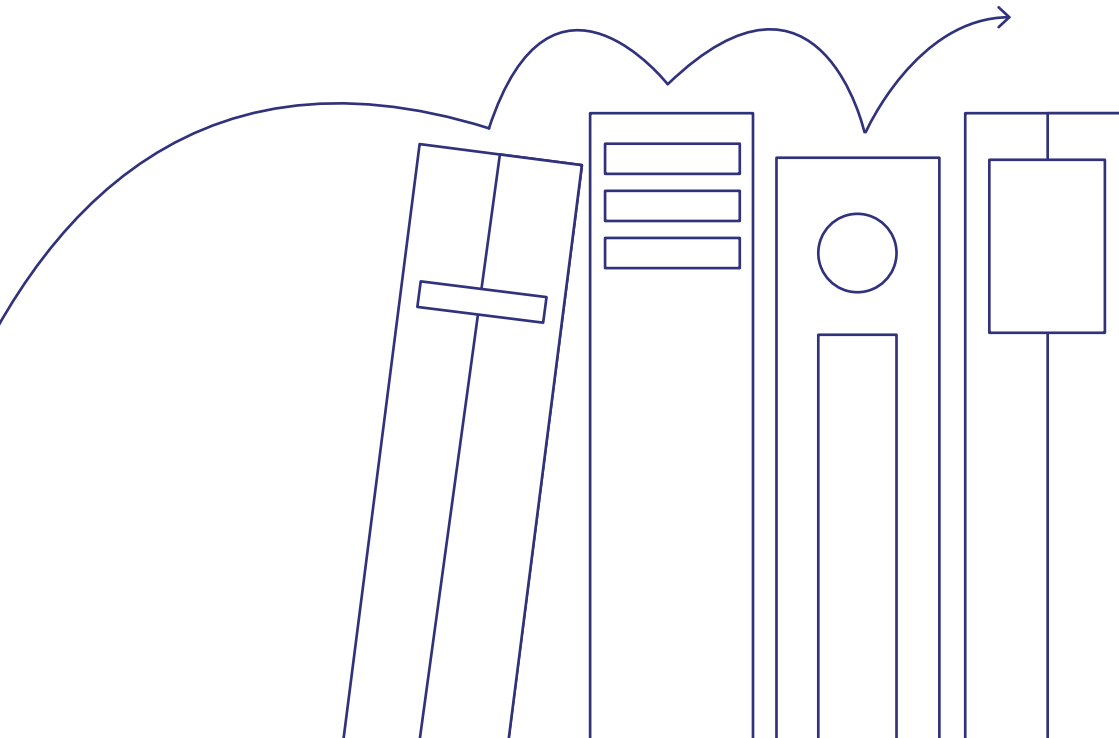
本書の内容はできる限り正確に保つように努めていますが、内容の正確性・完全性・信頼性・最新性を保証するものではありません。本書を参考に、必ずご自身の場合についてご自身で最新情報を探して調べ、疑問点はそれぞれの担当機関に直接ご相談ください。



DAAD とは？

ドイツ学術交流会（DAAD）はドイツの大学と学生団体が共同で運営する機関です。奨学金の提供に加えて、ドイツの大学の国際化を促進し、海外でのドイツ語研究とドイツ語学習を強化し、発展途上国における効率的な大学設立を支援し、教育政策、対外的な学術政策、開発政策について助言を行っています。

DAAD はまた、外国人学生にドイツでの勉強や生活に関する多くの情報を提供しています。その情報は、www.daad.de/en/study-and-research-in-germany/、www.study-in-germany.de/en/、及び www.myguide.de/en/ で、又は世界中の DAAD 事務所で入手できる情報パンフレットでご覧いただけます。



1 留学前の準備

旅行に行く際はプランをたて、いろいろ調整する必要があります。留学の場合も同様です。留学の場合には、大学の制度、学べる課程、出願方法や手続きなどについて基本的に理解しておくことが必要です。

この章では、ドイツ留学のために必要なこれらの基本情報として、ドイツの大学の種類、提供されている課程、出願などについて説明します。ドイツの大学に留学するにはいろいろな条件もあります。必要な手続きのために事前に準備しておくことや、留学前から住居探しを始める方法についてもご案内します。

この章の最後のチェックリストには、これらのステップ、及び各ステップを行うべき時期についての情報が含まれています。これを見ながら全体の流れをつかみ、準備がスケジュール通りに進んでいるか、出発に必要な書類がすべて揃っているかを確認することができます。

ドイツ留学をスムーズに始められるよう、このパンフレットをご活用ください。

1.1 ドイツの大学

どの国にも独自の高等教育制度があります。この章ではドイツの大学の種類、及びその運営母体について説明します。

教育政策

ドイツでは教育政策は連邦州により決定されます。そのため、ドイツの高等教育制度は一つではなく、類似してはいるものの16の連邦州がそれぞれ高等教育制度を定めています。しかし大学の種類には連邦州による違いはありません。いずれにせよ留学希望の大学がそれぞれどのような規則を定めているのかを詳しく調べる必要があります。



ドイツには現在、全国に 420 以上の大学があります。



大学の種類とその特徴

ドイツの約 420 の大学の中には、約 120 の総合大学、200 以上の応用科学大学／専門大学(以下、応用科学大学と呼びます)、及び約 60 の芸術大学が含まれます。さらに、30 を超える行政専門大学と特別な種類の大学もいくつかあります。これらの大学はそれぞれ特徴があります。

総合大学は研究志向が強く、大学での勉強は学術重視です。ほとんどの総合大学では幅広い専攻分野を学ぶことができます。しかし中には工業大学、医科大学、教育大学など、専門に特化した大学もあります。共通していることは、博士学位授与権があることです。ドイツで博士号を取得したい場合は、総合大学への進学を考慮してみてください。

一方、より実践的な教育を希望する場合は、応用科学大学が合っているかもしれません。一般的に、応用科学大学での勉強は応用重視であり、カリキュラムには通常、インターンシップが組み込まれています。総合大学と比較すると専攻の内容は応用志向であり、特に技術分野や工学分野、あるいは経済学や社会学の分野が多いです。ここでも工科応用大学など専門に特化した応用科学大学があり、近年その数は大幅に増加しています。

芸術大学には、美術大学、音楽大学、映画大学などが含まれます。芸術大学で学ぶには芸術的才能が求められ、通常、特別な入学試験に合格する必要があります。

ドイツの行政専門大学は、ドイツの公務員を養成する大学です。特別な種類の大学としては特に、大学での勉強と企業での勤務を同時に行うデュアル大学が挙げられます。

国立大学と私立大学

ドイツの大学の特徴として、多くの大学が州により運営されています(本パンフレットでは「国立」と呼びならわしています)。全大学の約 3 分の 2 が国立であり、州の資金で運営されています。また、110 以上の私立大学、40 弱の教会立大学が州により認可されています。

そのため、国立大学では通常、授業料はかからず学期共済費(英: Semester fee、独: Semesterbeitrag)のみを支払います(EU 以外の国からの留学生には授業料がかかる場合があります)。学期共済費は国際的に比較してかなり安く、通常は 170 ~ 450 ユーロです。これに対して、大多数の私立大学と一部の教会立大学では授業料がかかります。授業料の額はそれぞれ異なり、1 学期あたりおよそ 500 ユーロのところもあれば、最大 15,000 ユーロのところもあり、平均で約 3,500 ユーロです。





大学の歴史

ドイツ最古の大学は 1386 年に設立されたハイデルベルク大学（総合大学）で、最古の大学図書館もそこにあります。応用科学大学はまだ歴史が浅く、最初の応用科学大学が設立されたのは 1960 年代後半でした。応用科学大学は多くの場合、古くからあった工学学校や特定の専門分野の高等専門学校が前身となっています。

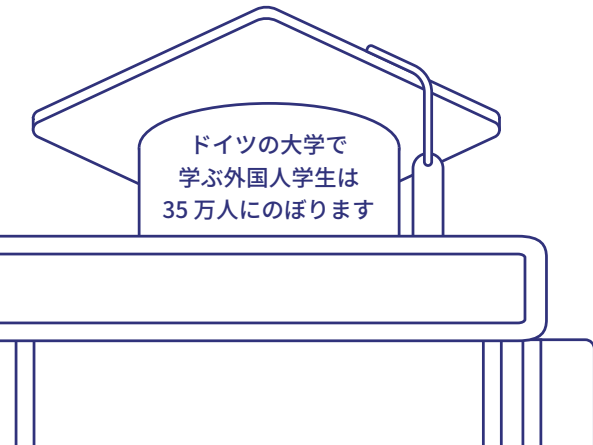
これらの大学の他に、州の認証を受けていない私立大学や教会立大学もあります。そこで得た学位は国際的な労働市場であり評価されない可能性があります。したがって、留学希望の大学が州の認証を受けているかどうかを事前に確認してください。Higher Education Compass (www.daad.de/study-programmes) に掲載されている大学は州の認証を受けています。

ドイツの現在の学生数

ドイツの大学の学生数は、2022/2023 年の冬学期には約 290 万人でした。そのうち約 170 万人が総合大学で、約 110 万人が応用科学大学で、約 38,000 人が芸術大学で学んでいました。

ドイツの大学生の大多数は国立大学に在籍し、私立大学で学ぶ大学生は約 12 % です。

ドイツの全学生の約 12 パーセントが外国出身の学生で、その数は約 35 万人です。



ドイツの大学で
学ぶ外国人学生は
35 万人にのびます



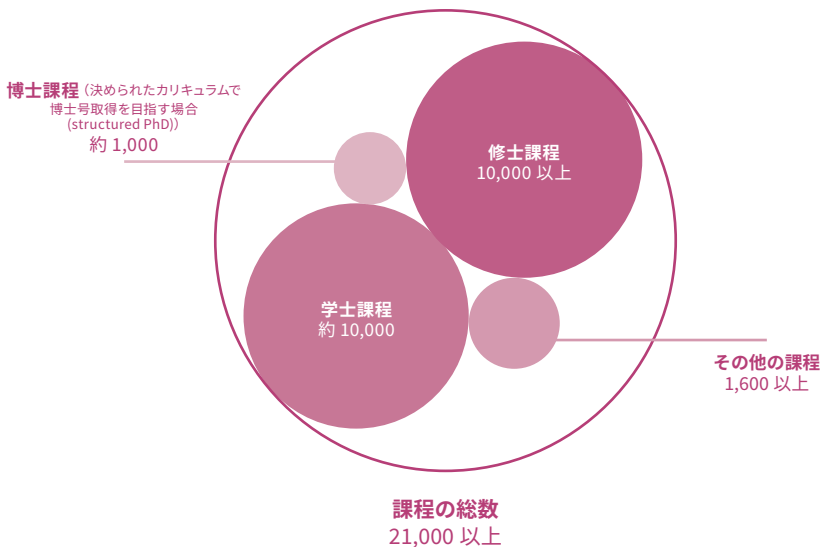
大学生の年齢

ドイツの大学生の平均年齢は約 23 歳です。ただし年齢には幅があり、現在ドイツで最年少の学生はまだ 15 歳未満です（飛び入学制度あり）。基本的にドイツの大学で学ぶ 18 歳未満の学生はわずか、その数は 5,000 人未満です。一方、分野にもよりますが定年後に大学で学ぶ人はこれより多く、約 55,000 人いると推定されています。分野としては特に歴史や哲学などが多く、技術分野ではまれです。

1.2 ドイツの大学の課程と学位

これから大学に入る場合であっても、すでに大学で勉強中であっても、ドイツの大学ではあなたの興味に合った課程や学位がきっと見つかるでしょう。幅広い選択肢がありますので、選択の際には多くのことを考慮して検討する必要があります。そのために本書を活用してください。

ドイツの大学における課程数



ドイツで最も一般的な学位

高校を卒業したばかりなら、学士号 (Bachelor) を取得できる学士課程が最適でしょう。学士課程を修了して得られる学士号のうち最も一般的なものは文学士 (B.A.) で、多くの場合、社会学、経済学、又は言語学の学士課程で得られます。自然科学分野で得られる理学士 (B.Sc.) や、工学分野で得られる工学士 (B.Eng.) も一般的です。学士課程の長さは通常 6 ~ 8 学期で、修了すると最初の学位である学士号を得られます。学士号をもって仕事に就くことも、修士課程に進んでさらに専門を深めることもできます。

修士号 (Master) には主に文学修士 (M.A.)、理学修士 (M.Sc.)、又は工学修士 (M.Eng.) があります。修士課程に入学するには通常、学士号が必要であり、多くの場合、関連分野での学士号が求められます。修士課程では、学士課程で学んだ基礎知識をさらに深めます。修士課程の長さは通常 2 ~ 4 学期です。修士課程修了後は仕事に就くことも、博士号取得を目指すこともできます。

修士号取得後、博士号 (Doctorate/PhD) を目指すこともできます。博士号取得のためには学術的な問題を研究し、その成果を学位論文、つまり博士論文として発表します。研究テーマや対象分野により異なりますが、博士号取得には 2 年から 5 年かかります。

博士号取得：方法と関連情報

ドイツでの博士号取得には、Individual PhD と、Structured PhD という 2 種類の方法があります。Individual PhD はドイツの伝統的な博士号取得の方法です。この場合、博士論文の指導教授を自身で探します。その指導教授は Doktorvater 又は Doktormutter と呼ばれます。指導教授の下で、比較的自由にかつ自立的に研究に取り組むことになります。

Structured PhD では、research training group や graduate school といった PhD プログラムに所属し、そこで所定のカリキュラムにしたがって研究を進め、博士号取得を目指します。

どちらの方法にも長所と短所があります。Individual PhD では、時間的にも研究テーマにおいてもより大きな自由があります。そのためには、他の博士課程学生と一緒に研究することが多い Structured PhD の場合と比較して、より自立して研究に取り組む必要があります。どちらの方法が自身の性格や研究の進め方に合っているかを考えて選んでください。

ドイツでの博士号取得に関する詳細情報は以下のウェブサイトをご覧ください。

- www.daad.de/phd
- www.research-in-germany.org
- www.hochschulkompass.de/en/doctoral-studies

以下のウェブサイトでは博士課程プログラムの具体的な募集要項を調べることができます。

- www.phdgermany.de
- www.hochschulkompass.de/en/doctoral-studies
- www.daad.de/international-programmes
(英語で行われる博士課程プログラム)



ヒント：英語で行われる博士課程プログラムについては、ドイツのマックス・プランク研究所のマックス・プランク国際リサーチスクール (IMPRS) もぜひご覧ください。ここではドイツ及び外国の博士課程学生と一緒に研究を行っており、使用言語は英語です。現在、68 の IMPRS が存在します。詳細は www.mpg.de/en/imprs をご覧ください。

外国ではあまり知られていませんが、ドイツにはこの他にも国家試験 (Staatsexamen)、ディプローム (Diplom)、マギスター (Magister) という学位もあります。ディプローム及びマギスターは、特に工学、芸術、神学の分野において今でも時折見られる学位です。これに対して、国家試験は法学、医学、薬学、及び教職課程で得られる学位です。国家試験の学位取得を目指す場合は、その国家試験の学位が母国でも認められるかどうかを事前によく調べておきましょう。

Orchid subject と呼ばれる珍しい専攻学科

植物学とは何の関係もありませんが、ドイツの大学には orchid subject (「蘭」学科) と呼ばれる、ごく少数の大学でのみ学ぶことができるとても珍しい専攻学科もあります。応用レジャー学や馬学の学士課程、パピルス学、コーカサス学、固有名詞学の修士課程などがあります。これらの学科では講義室が混雑することはありませんが、パーティーで興味を引く話題になることは間違いありません。



ドイツ語以外の言葉で学ぶ： インターナショナルプログラム

ドイツに留学したいけれどドイツ語力が足りないという方もいるでしょう。その場合はインターナショナルプログラムと呼ばれる課程を考慮するのもいいかもしれません。これらの課程では主に英語で授業が行われ、高いドイツ語力がなくても出願できる場合が多いです。これらの課程では多くの場合、外国人学生に対する特別なサポートもあります。また、外国からの客員講師や国際的なプロジェクトなど、国際的な要素がカリキュラムに組み込まれていることも多く、さらに、ドイツの日常生活に溶け込めるよう語学コースが設けられていることもあります。

現在ドイツで提供されているインターナショナルプログラムの多くは、International Bachelor, Master and Doctoral Programmes という DAAD データベース (www.daad.de/international-programmes) で探すことができます。現在、約 290 の学士課程、1,400 以上の修士課程、及び約 180 の Structured PhD 課程が含まれています。

ジョイントディグリープログラム又はデュアルディグリープログラムで国境を越えて学ぶ

International double degree プログラムという課程では、課程の全期間をドイツだけで学ぶのではなく、他の国でも学びます。つまり課程の標準学修期間の一部のみをドイツで学び、残りの期間は外

国の大学で学びます。この場合、ドイツの大学の学位と外国の大学の学位の 2 つの学位を取得できます。このようなプログラムは現在ドイツに約 850 あり、そのうち約 290 が学士課程、約 550 が修士課程です。

留学せずにドイツの学位を取得： ハイブリッド課程及びオンライン課程

ドイツでは通信教育コースは珍しくありません。むしろ対面で学ぶことができない大学もいくつかあります。コロナのパンデミックを受けて、ドイツの大学もハイブリッド型やオンライン型の教育を拡大しています。現在、1,000 を超えるオンラインプログラム又はハイブリッドプログラムがあります。

コースはそれぞれ大きく異なります。中にはドイツへの渡航を必要としないプログラムもあり、試験もオンラインで行われます。しかしほとんどのプログラムはドイツにおいて対面で学ぶことが必要な期間が含まれます。これは、週に数日のこともあれば、年に数週間のこともあります。試験のみ対面という場合もあります。そのため、個々のプログラムがどのように構成されているかを慎重に確認する必要があります。

授業の方法も大きく異なります。プログラムによっては、授業の内容が用意されていて、時間や場所に関係なく好きな時に学べる場合もあります。一方で、授業がライブで行われる場合、つまり、ビデオ配信やチャットの時間が決められてい

る場合もあります。その場合、ドイツと時差がある地域に住んでいると、例えば深夜に授業に参加することになり、かなり大変になるでしょう。

基本的に、どのリモートコースにもメリットとデメリットがあります。一つのメリッ

トとして、現在住んでいる所にいながら、国際的に認められるドイツの大学の学位を取得できることが挙げられます。そのため、ドイツの滞在許可や家族と離れ離れになることについて心配する必要はありません。しかし、留学で得られる文化体験はあきらめなくてはなりません。



ヒント：ドイツの大学から対面で学ぶ課程の入学許可が出たものの、入国に必要なビザがまだ発行されていない場合は、その課程にハイブリッドで学べる授業がないかを調べてください。ハイブリッド方式では、大学において対面で学ぶか、他の場所からオンラインで学ぶかを選べます。そのため、ビザが発行されるまではオンラインで授業を受け、ビザを受け取った後に対面で勉強を続けることができます。

ドイツの大学で卒業を目指すのではなく、1学期又は2学期だけ留学したいという方は、自身の大学の International Office でドイツの大学との協定プログラム（交換留学）について相談してください。もしあなたの大学が欧州連合内の国である場合、又は、エラスムス・プラスという欧州連合のプログラムの関係国である場合（日本はこれに該当します）、海外留学のすばらしい機会であるエラスムス・プラスに参加できる可能性があります。詳細情報については、eu.daad.de をご覧ください。

大学都市

留学先を決める際には、プログラムや大学だけでなく、大学のある都市が自分の好みに合っていることも重要です。大都市で暮らす方が合っている、静かな小都市のほうが好き、北部のさわやかな海の空気が好き、山が多い方が落ち着く、など好みは色々あるでしょう。www.study-in-germany.de/en/germany/cities/ では、ドイツの約100の大学都市の概要を知ることができます。



関連リンク

- Higher Education Compass (www.daad.de/study-programmes) : 大学の 21,000 以上の課程の情報
- International Programmes in Germany (www.daad.de/international-programmes) : ドイツの大学で主に英語で学べる約 2,000 の課程と、サマーコースなど短期コースの情報
- My GUIDE (www.myguide.de/en/) : 大学の課程の情報ポータル。登録してログインすると自身が出願可能かどうかを調べ、希望の大学に直接コンタクトすることが可能
- Study in Germany : ドイツの高等教育制度に関する情報 (www.study-in-germany.de/en/plan-your-studies/study-options/higher-education-system/)
- studienwahl.de/en : ドイツの公式大学進学ガイド

1.3 入学要件及び出願方法

ドイツの大学で学ぶためには、証明書類により一定の条件を満たしていることを示す必要があります。また多くの場合、ドイツ語力の証明も必要です。不足するものがある場合は、それを補える場合もあります。形式的にはすべての条件を満たしていても大学での勉強に不安を感じる方は、準備コースや自己診断テストなどを受けられる場合もあります。出願する際には、出願の流れを事前によく調べておくことをお勧めします。この章ではこれらのことについて説明します。

ドイツの大学で学ぶために必要な卒業証明書

ドイツの大学に留学するには大学入学資格 (Hochschulzugangsberechtigung / higher education entrance qualification) が必要です。ドイツでは、これは Abitur (大学も専攻も限定されない) 又は Fachabitur (専攻分野が限定される) にあたります。そのため、あなたの学校の卒業証明書は、これらの資格のいずれかに相当するとみなされる必要があります。

自分の学校の卒業証明書がこれらに相当するとみなされるかどうかはどのように調べてればいいのでしょうか。

欧州経済領域 (EEA) 加盟国又はスイスの学校の卒業証明書をお持ちの場合は非常に簡単です。その卒業証明書によりあなたの国の大学で学ぶことができれば、

通常はドイツの大学でも学ぶことができます。また、EU 加盟国かどうかに関わりなく、海外のドイツ人学校で Abitur を取得した方はドイツの大学で学ぶ資格が得られます。

スイスや EEA 諸国の出身でもなく、ドイツ人学校の卒業生でもない場合は、個々の場合に応じて事前に確認する必要があります。DAAD の Web サイトにはこのためのツールがいくつか提供されています。その一つである大学入学資格データベース (www.daad.de/admission-database) では、現在提出できる高校や大学等の証明書が、ドイツの大学入学資格に関して以下のうちのように評価されるかを調べることができます。

- ドイツの大学で学ぶことができ、専攻も限定されない (direct general university admission)、又は、
- ドイツの大学で学ぶことができるが、専攻分野が限られる (subject-restricted admission)、又は、
- 自国の大学で 1 年又は 2 年間学んだ場合にドイツの大学で学ぶことができる、又は、
- ドイツの大学で学ぶには、現在お持ちの証明書だけでは不十分である。

この情報は、DAAD ポータル My GUIDE (www.myguide.de/en/) でも調べることができます。現在お持ちの証明書に基づいて大学入学資格の簡易的にチェック (拘束力のある正式な判定ではありません) が行われ、出願できる可能性のある学位課程が表示されますので、すばやく

調べることができます。相談したい場合は My GUIDE から各大学に直接問い合わせることも可能です。

これらのオンラインツールは単なる簡易的なガイドツールであり、最終的な判断は各大学が行うことに注意してください。そのため、現在お持ちの卒業証明書等が認められるかどうかを希望する大学に確認する必要があります。

また、希望する専攻が芸術系の場合、異なる要件が適用される場合があります。特別な才能を示すことにより、正式な大学入学資格がなくてもその大学で学べる場合もあります。こちらも各大学が個別に判断します。

現在お持ちの卒業証明書等がドイツの大学入学資格と同等とは認められない場合

ドイツの大学で学ぶには現在お持ちの卒業証明書等では不十分である評価された場合は、**Feststellungsprüfung** と呼ばれる大学入学資格試験に合格するという道もあります。この試験では、将来の専攻に関係する科目についてテストされます。この試験に合格すると、その分野の学士課程に出席できます。原則としてこの大学入学資格試験には語学試験も含まれています。

この大学入学資格試験は特別な準備なしに受けることも可能ですが、**Studienkolleg** と呼ばれるドイツの大学入学準備課程で準備することが強く推奨されます。Studienkolleg は通常 2 学期制で週に約 30 時間の授業があります。通常、国立大学の Studiekolleg の授業



ヒント：現在お持ちの卒業証明書では大学入学資格と同等とみなされない場合に大学入学資格試験に合格することが求められるのは、学士課程に出願する場合のみです。すでに学士課程を修了した方が修士課程に出願する場合は、この試験を受ける必要はありません。また、自国で学士課程を修了した方も同様です。

料はかかりませんが学期共済費は支払う必要があります。また、大学入学準備課程に通うためには、十分なドイツ語力（ヨーロッパ言語共通参照枠のレベル B1 以上）が求められます。Studienkolleg について詳しくは www.daad.de/en/studying-in-germany/requirements/studienkollegs/ を参照してください。

ドイツ語力のレベル

ドイツの大学に留学するには言語は重要な要素です。どの程度のドイツ語力が必要なのでしょうか。

求められるドイツ語力は、各大学及び各課程の規定により大きく異なります。

International program の中にはドイツ語力がなくても学べるものもありますが、ほとんどの課程はドイツ語で教えられています。講義やゼミナルを受講し、レポートを作成するためには、出願時にドイツ語力を証明する必要があります。

ドイツ語力を証明するには、TestDaF (Test Deutsch als Fremdsprache) と DSH (Deutsche Sprachprüfung für den Hochschulzugang) という 2 つのテストがあります。TestDaF は、100 か国にある 500 のテストセンターのいずれかで受験できます。デジタル TestDaF もテストセンターでのみ受験できます。試験日は事前に決定されており、www.testdaf.de で確認できます。一方、DSH



語学力

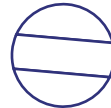
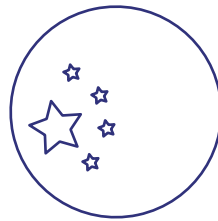
外国人学生の 80% 以上がドイツ留学前にすでにドイツ語を話しています。ドイツ語が必須ではない課程で学ぶ場合でも、ドイツ語があれば、大学での学修においても私生活でもドイツに慣れるのが容易になります。



ヒント：語学証明書については www.sprachnachweis.de をご覧ください。ここでは必要なドイツ語力について大学名及び専攻名を指定して調べることができます。また、ドイツ語力を証明するために受験できる試験の概要も記載されています。実際に出願する際はそれぞれの大学のウェブサイトで最新の情報を調べてください。

は主にドイツの大学や大学入学準備課程で実施されます。試験日は dsh.de/dsh-dates で確認できますが、留学希望の大学の International Office で詳細を確認してください。TestDaF も DSH も試験結果でドイツ語レベルが示されますが、ドイツの大学に入学が許可されるには最低でもレベル B2.2 に達している必要があります。

TestDaF も DSH も受験料がかかります。受験料はテスト機関によっても、国によっても異なりますので、ご自身の場合はいくらになるかを確認してください。



ドイツ国内の語学コース

大学で学ぶ前にドイツ語力を向上させたりリフレッシュしたりするには、ドイツ国内の短期語学コース（サマーコースなど）に参加するのも良い方法です。多くの大学が初學者コースから上級コースまでさまざまなコースを提供しています。特定のテーマに焦点を当てたコースもあれば、一般的な地域情報を学ぶコースもあります。現在募集中のコースについては www.summerschools.de をご覧ください。

以下のいずれかに該当する場合は、語学力を証明するためのテストを受ける必要はありません。

- ドイツ語で授業が行われる学校を Abitur をもって修了している
- 新しい Goethe-Zertifikat C2 : GDS に合格している
- Kulturministerkonferenz の Deutsches Sprachdiplom (Stufe II) を取得している
- telc Deutsch C1 Hochschule に合格している

語学力に関する詳細情報

ドイツ語力レベルは、ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) のレベルに従って示されます。CEFR には3つの基本レベルがあります。

レベル A – 基礎段階の言語使用者

レベル B – 自立した言語使用者

レベル C – 熟達した言語使用者

これらのレベルはさらに1と2に分かれています。A1とは、ドイツ語の日常的な表現と非常に簡単な文章を理解して使用できるレベルです。C2とは、母国語とほぼ同じようにドイツ語が話せるレベルです。

ドイツ留学に向けた更なる準備について

形式上はドイツの大学に留学するための要件を満たしていても、自分のドイツ語力は大学で学ぶのに十分だろうか、専攻について自分が持つ知識でドイツの大学で学んでいけるだろうかなど、少し不安を感じることがあるかもしれません。

そのような不安がある場合は、Propädeutikum と呼ばれる準備コースが役立つ可能性があります。Propädeutikum では語学コースを受講し、大学入学後の専攻について準備します。多くの場合、ドイツの大学のしくみや大学での勉強の進め方についても学びます。Propädeutikum はそれぞれ大きく異なっており、期間も数週間のものもあれば、1学期又は2学期続くものもあります。Propädeutikum のうちいくつかは DAAD のデータベース International Programmes in Germany (www.daad.de/international-programmes) で、コースタイプを Prep Course と指定して検索することができます。

自分の实力を知るために Test for Academic Studies (TestAS) という学力テストを受けることもできます。これにより、ドイツの大学で学ぶための学力があるかどうかわかります。大学によっては、出願時に TestAS が必要になる場合もあります。希望する大学の入学要件をよく確認してください。TestAS の詳細については、www.testas.de/en/ をご覧ください。

ドイツ語力をチェックしたい場合はゲーテインスティトゥートのドイツ語セルフテストを受けることもできます。このテストは www.goethe.de/de/spr/kup/tsd.html でご利用いただけます。

専攻科目を選ぶときに役立つ、オンラインのセルフテストもいくつかあります。Study Interest Test (SIT) (www.hochschulkompass.de/studium-interessentest) では例えば、あなたがどのような興味、傾向、才能を持っているかを見ることができます。所要時間は15分程度で無料で利用でき、この結果に従う必要もありません。インターネット上には他にもセルフテストがあります

が、すべてが信頼できるものであるとは限りません。Hochschulkompass のウェブサイト www.hochschulkompass.de/en/degree-programmes/choosing-a-programme/higher-education-orientation-tests.html には検証済みのテストのリストが掲載されています。また、すでに技術分野を専攻したいと決めている場合は、ドイツの9つの工科大学の連合であるTU9が提供するオンラインサービスであるSelfAssessment International が最適です (www.rwth-aachen.de/cms/root/studium/vor-dem-studium/studienentscheidung/~eft/selfassessments/?lidx=1)。



ヒント：個々の大学や学部がオンラインテストを行うことは珍しくありません。希望する課程でそのようなテストが実施されている場合は、テストを受けてみるとよいでしょう。

このテストにかかる時間は90～120分です。

個人的に相談したい場合には、以下のところに相談してみましょう。

- 世界各地に設けられた DAAD 事務所
- DAAD から大学に派遣されている講師
- ゲーテインスティトゥート及びゲーテセンター
- ドイツの在外公館（大使館及び領事館）

ドイツ国内では、各大学の International Office だけでなくボンにある DAAD 本部に相談することもできます。

このほか、ドイツの大学への留学に関する情報を提供するウェブサイトはたくさんあります。まず例えば Study in Germany – Land of Ideas (www.study-in-germany.de/en/) を見るとよいでしょう。

YouTube、Facebook、Instagram などからアクセスすることもできます。本書の巻末の「アドレスとリンク集」セクションの「相談窓口」のリンクをご覧ください。

ドイツの大学への出願方法

まず、課程によってそれぞれ出願方法が異なりますのでよく注意することが重要です。提出書類についても統一されたルールはありません。以下におおまかな概要を挙げていますが、必ず、留学希望の課程の要項を個別に確認してください。

ドイツの大学の中には、入学制限が設けられていない (zulassungsfrei) 課程と入学制限がある (zulassungsbeschränkt) 課程とがありますので、希望する課程について確認してください。

希望する課程が zulassungsfrei の場合：大学入学資格を有するなどの基本的な要件を満たしている必要があります。大学で直接手続するのか、uni-assist を通じて出願するのかは、大学により異なります。

希望する課程が zulassungsbeschränkt の場合：ドイツの大学には、出願者数が定員を上回っている課程が多くあります。その場合、出願の規則がより厳しくなっています。

例えば、よくある大学入学制限 (NC) では、卒業証明書等で一定の成績が示されていることなどが求められます。

この NC は大学ごとに規則を設けることもでき、大学は独自の最低成績要件を設定することができます。出願は、大学に直接出願の場合もあれば、uni-assist 経由で出願する場合があります。成績に加えて、課程によっては入学前のインターンシップ、適性テスト、推薦状等が求められることもあります。それぞれの課程の規定を必ずよく確認してください。

また、現在のところ医学、薬学、獣医学、歯科の課程については全国一律に入学制限が設けられています。このような課程に出願する場合、提出できる卒業証明書がドイツの卒業証明書と同じとみなされる出願者は、Stiftung für Hochschulzulassung (www.hochschulstart.de) に出願します。それ以外の出願者 (日本の卒業証明書が提出できる方はこちら) は、大学に直接出願する場合も、uni-assist 経由で出願する場合があります。詳しくは Stiftung für Hochschulzulassung のウェブサイトを参照してください。

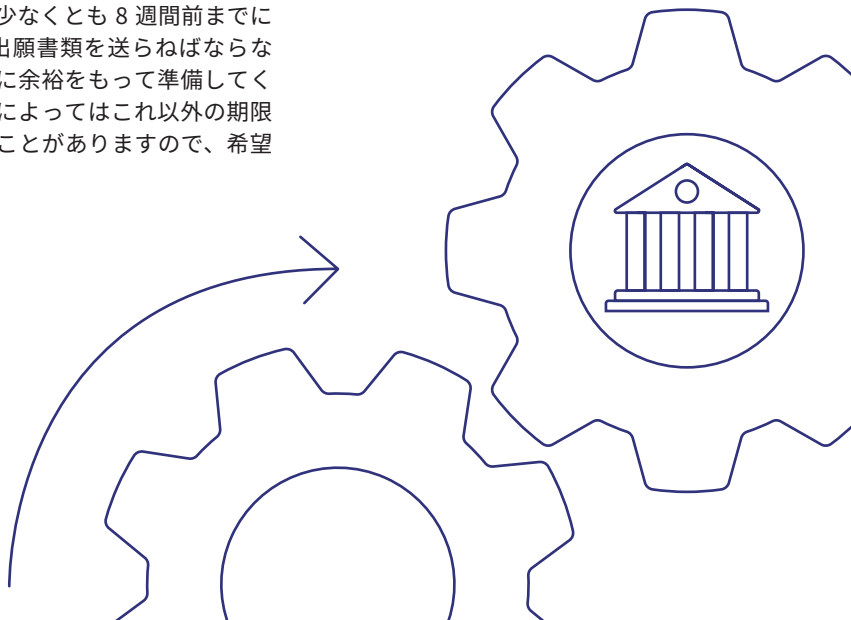


uni-assist とは

多くの大学の課程にはそれぞれの入学条件が設けられています。そのチェックのために、外国からの出願者は出願書類を uni-assist に送るよう指示されていることがあります。uni-assist とは、外国からの出願書類を審査する役割を持つ非営利の組織です。審査は有料です。出願書類に不備がなければ、出願書類は uni-assist からそれぞれの大学に送られます。出願書類に不備がある場合は出願者に通知され、足りない書類を提出することができます。複数の課程に出願する場合でも uni-assist にまとめて出願書類を提出できるので便利です。しかし、出願方法は課程によって異なりますので、希望する課程の出願方法を個別によく確認し、また、uni-assist 経由で出願するよう指示されているかどうかを必ず事前に確認してください。

2 番目のステップでは、指定された出願期限を厳守する必要があります。多くの場合、出願期限は実際の授業開始から数か月前に設定されています。多くの大学では、冬学期入学の出願期限は 7 月 15 日、夏学期入学の出願期限は 1 月 15 日です。しかし、uni-assist 経由で出願するよう指示されている場合は、大学が指定する期限の少なくとも 8 週間前までに uni-assist に出願書類を送らねばならないため、時間に余裕をもって準備してください。大学によってはこれ以外の期限を設けていることがありますので、希望

する課程の出願期限について必ず事前に余裕を持って調べてください。また、多くの課程の入学が冬学期のみとなっていることにも注意してください。





ドイツの大学の学年

ドイツの大学の大多数において1学年は冬学期（WiSe）と夏学期（SoSe）の2学期に分かれています。各学期の講義期間にはゼミナールや講義が行われます。学期と学期との間には講義のない期間、いわゆる学期休みがあります。しかし、これは純粹な休日ではなく、多くの場合そこで試験が行われ、また、ゼミのレポートも完成させる必要があります。

学期の開始時期は各大学が独自に決定します。ご参考までに以下におおまかな時期を挙げましたが、希望する大学の正確な学期開始日は必ずご自身でチェックしてください。

総合大学

冬学期：10月から3月まで

夏学期：4月から9月まで

応用科学大学

冬学期：9月から2月まで

夏学期：3月から8月まで

世界の大学の冬学期開始時期

世界の多くの地域で、大学の冬学期は9月に始まります。ドイツの大多数の総合大学では10月です。ドイツの総合大学の中にも、数は少ないですがマンハイム大学など、この国際的なカレンダーに合わせているところもあります。その場合、冬学期は9月初めに始まり、クリスマス前に終わります。夏学期は2月に始まり、6月に終わります。そのため、秋学期、春学期と呼んでいる大学もあります。

最後に、出願が完了していること、つまり必要な書類をすべて提出したことを確認する必要があります。通常、次のものが含まれます。

- 大学入学資格の条件を満たしていることを示す証明書
- これまでに取得したすべての大学関連の証明書
- パスポートの写真
- パスポート
- 語学証明書

原本は決して提出せず、コピーを提出してください。コピーは認証コピーであること、つまり、その証明書が正しいものであることが正式に認証されていることが必要です。さらに、すべての文書はドイツ語又は英語に翻訳する必要があります。その翻訳も認証翻訳である必要があります。認証コピー及び認証翻訳については各大学のウェブサイト、uni-assist (www.uni-assist.de/en/)、ドイツ大使館・総領事館のウェブサイト (japan.diplo.de/ja-ja) をご覧ください。

出願は無料というわけではありません。コピー認証や認証翻訳には手数料がかかりますし、ドイツ語の検定試験も無料ではありません。機関によっては手数料がかかる場合もあります。例えば uni-assist では、1つ目の課程への出願には75ユーロの手数料がかかります。複数の課程に出願する場合は、課程を追加するごとに30ユーロずつ加算されます。大学によっては uni-assist の手数料を負担するところもあります。詳細については、uni-assist (www.uni-assist.de/en/) で直接ご確認ください。Stiftung für Hochschulzulassung の出願手数料はかかりません。

難民認定を受けている場合




原則として、難民もドイツの大学で学ぶことができます。難民認定を受けている場合、又は、強制退去が停止されている場合でも出願に問題はありません。また、難民申請が進行中であっても可能です。それ以外の点については、難民にも他の外国人学生と同じ条件が適用されますが、必要な書類がなくても、又は、書類が不完全であっても大学で学ぶことが可能です。



1.4 事前に必要な手続き

出願したドイツの大学から合格通知が届きましたか？おめでとうございます！でも、この通知だけではまだ正式にその大学の学生になったわけではありません。正式な学生になるには大学に入学手続きをすること、つまり学籍登録が必要です。学籍登録の期限は合格通知に記載されています。合格通知は、冬学期入学に出願した場合は8月又は9月に、夏学期入学に出願した場合は2月又は3月に送付されます。

入学手続き



各大学は、その大学で学ぶ予定の学生の入学手続き（学籍登録）の方法を独自に決めています。学籍登録がオンラインや郵送で可能な場合もありますが、現地で本人が手続きする方法しかない場合もあります。その場合は、期限に間に合うようにドイツに到着する必要があります。通常、期限が過ぎると学籍登録はできなくなります。

上記のとおり、合格通知が到着するのはかなりぎりぎりですので、合格通知が来たらドイツ留学に必要なさらなる準備を始めるのではかなりのストレスになる可能性があります。また、学期の開始に間に合うようにドイツに到着できなくなることさえあります。以下に、事前に準備すべき事項について説明します。

留学費用

ドイツに行く前に、留学にかかる費用をどうやってまかなうかを明確にしておく必要があります。そのためには、どのような費用が予想されるのか、またどのようにしてお金を用意するかについて知る必要があります。これについては、次のセクションで説明します。ここで注意すべきことは、ドイツでの生

活にかかる費用について一般的に述べることは難しいということです。それぞれの大学の所在地や個人のライフスタイルによっても大きく左右されます。

とはいえ、一般的にドイツでの生活費は他のヨーロッパ諸国と比較してそれほど高くないと言えます。ほとんどの近隣諸国では価格水準が高く、特に北欧諸国とスイスはかなり高くなります。

平均して月にどのくらいの費用がかかるかをおおまかに知るための目安として、一つには、ドイツの学生の月々の生活費の平均が挙げられます。第22回社会調査によると、2021年夏学期における大学生のひと月あたりの支出の平均は842ユーロ、総収入は月額1,036ユーロでした。もう1つの目安として挙げられるのは、外国人学



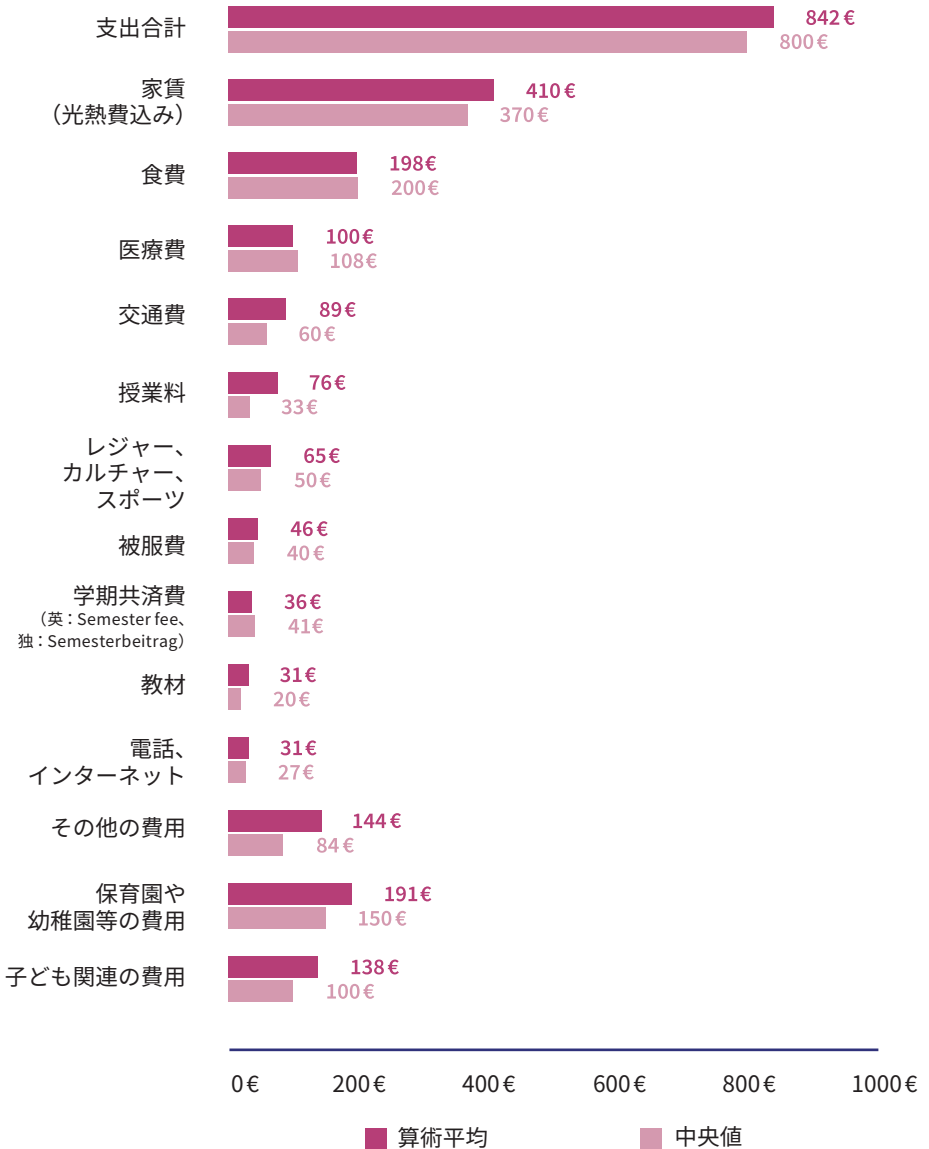
生がビザ申請する際に求められる財源証明書の額です。2024年9月現在、この額は年間11,904ユーロ以上となっており、ひと月あたり992ユーロ以上とされています。しかし最近、家賃、食料品、エネルギー価格が大幅に上昇しているため上記の金額では足りない可能性があります。そのため、これよりももう少し多く見積もった方がよいでしょう。

出費の中で最も大きな割合を占めるのはアパートなどの家賃です。光熱費などを含め大学生の家賃の平均は410ユーロと、毎月の予算のほぼ半分を占めます。しかしながら、家賃には大きな幅があります。ミュンヘンやフランクフルト・アム・マインなどのドイツ西部の主要都市の家賃はもっと高く、大学生向けの民間のシェアフラットの家賃の平均はミュンヘンで720ユーロ、フランクフルト・アム・マインで580ユーロです。ベルリンは長らく物価が安かったのですが、最近は上位

に位置しており、シェアフラットの家賃も平均640ユーロです。ドイツ東部の小さな町やルール地方でしたら、はるかに安く住むことができます。また、学生寮の家賃もこれよりずっと安くなります。

その他の主な出費には、食費（月額198ユーロ）、交通費（月額89ユーロ）、医療費（月額100ユーロ）が含まれます。子どものいる学生にとって、子ども関係の出費と保育園等の費用も非常に重要です。自由に使えるお金が少ない場合、特に食費や交通費は大幅に節約できます。安いスーパー、いわゆるディスカウントショップで買い物をしたり、自炊をしたりすることもできます。大学の近くに住めば、公共交通機関を利用せずに自転車や徒歩で通うことができます。

大学生の支出合計と項目別の支出（単位：ユーロ）



出典：German Centre for Higher Education Research and Science Studies (DZHW) and the Research Group on Higher Education of the University of Konstanz: 22nd Social Survey



節約のヒント：学食（Mensa）で食事

毎日 40 万人以上の人々がドイツの学生互助会（Studentenwerk 又は Studierendenvork）が運営する学食やカフェテリアで食事をしています。その数は全国で 875 にのぼり、温かいランチを 3 ユーロほどで食べられます。そして、ただ食事をするために学食に行くわけではありません。ここで他の学生と会い、楽しい休憩時間を過ごすことができます。

学割で文化を楽しむ

ドイツでは多くの文化施設で学割が利用でき、大学生はより手ごろな料金で博物館、劇場、オペラ、映画館に行くことができます。ただし、学生証は忘れずに持っていきましょう。学生証がないとチケットを安く手に入れることは難しいでしょう。

各大学が請求する学期共済費（英：semester fee、独：Semesterbeitrag）も予算に含める必要があります。金額は約 170～450 ユーロとかなり幅がありますが、100 ユーロ未満の大学もいくつかあります。料金には共済費や料金が含まれており、特に学食や学生寮の運営のために使われます。多くの場合、市内の公共交通機関を無料で利用できるゼメスターチケット（Semesterticket）が含まれており、中には、地域内、州内までカバーされていることもあります。



DEUTSCHLANDTICKET

2023 年 5 月 1 日にドイツで導入された Deutschlandticket は、現在月額 49 ユーロで大都市の地下鉄、都市間の地方鉄道、国内のバス交通など、ドイツ国内のどこでも近距離公共交通機関を利用できます。このチケットが今後大学生にとってお得になるかについてはまだ明らかではありません。Deutschlandticket をゼメスターチケットに統合する計画もあります。留学希望の大学に現地の規則について問い合わせることをお勧めします。

場合によっては授業料も予算で考慮する必要があります。国立大学の学士又は修士課程のほとんどは授業料が無料です。しかし、私立大学やいくつかの修士課程では、1学期あたりの授業料が10,000ユーロを超える場合があることも覚悟しなければなりません。

これらの費用をまかなう方法として、外国人学生の多くは親からの援助を受けていますが、アルバイトで収入を得ている学生も半数います。外国人学生のうち22パーセントが貯金で費用をまかなっており、15パーセントが奨学金を受給しています。



学業のかたわら収入を得る

アルバイトで収入を得たい場合は、適用される法律に注意してください。EEA（欧州経済領域）加盟国又はスイスからの学生には特別な規則はなく、ドイツの学生と同様に週20時間まで働くことが許可されています。その他の国からの学生は、2024年3月以降、年間140日（フルタイム）又は280日（半日）のみ働くことができ、それ以上働きたい場合には許可が必要です。Werkstudent / Werkstudentin（勤労学生）の募集に応募したい場合は、ご自身の場合について規則を確認してください。

ドイツには多くの奨学金プログラムがありますが、他の国とは異なり、必ずしも大学が提供しているものではありません。ドイツ学術交流会（DAAD）の外国人学生向け奨学金制度は、特に充実しています。世界各国のDAAD事務所にご相談ください。また、政党関連の財団、宗教団体、ビジネス関連団体、才能ある学

生を支援する団体も奨学金を提供しています。DAAD 奨学金データベース (www.funding-guide.de) では、主な奨学金プログラムを検索することができます。奨学金で在学中の生活費全額をまかなえるのはごくまれなケースであり、多くの場合、奨学金は補足的なものであることに注意してください。



ヨーロッパの大学生向けの交換プログラム

EU 加盟国及び、アイスランド、リヒテンシュタイン、北マケドニア、ノルウェー、セルビア、トルコからの大学生も特別交換プログラムに参加できます。中でもエラスムス・プラスというプログラムは非常に有名で、3～12か月の留学の助成が行われます。このような交換プログラムは大学間の二国間協定の枠組みの中で行われます。その協定では学生は提携大学からのゲストとなるため、授業料を払う必要はありません。詳細については erasmus-plus.ec.europa.eu/de をご覧ください。エラスムス・プラスのプログラムの中には日本の大学から参加できるものもあります。 www.eeas.europa.eu/japan/eujpacademic_ja?s=169 参照

健康保険

ドイツの健康保険には、公的又は民間の2種類があります。ドイツのすべての学生は、大学に学籍登録する際にいずれかの保険契約を提示する必要があります。そのため、出発前に保険を探しておく必要があります。それには、現在入っている保険がドイツでも有効なのか、又は、新たに保険に加入する必要があるかを確認してください。

通常、EU 又は EEA 諸国で公的健康保険に加入している場合は、その保険がドイツでも認められることがあります。その場合、ドイツで使用できる欧州健康保険カード (EHIC) を自国で申請できます。

国によってはドイツとの間に二国間社会保障協定が結ばれている場合もあります。連邦労働社会省のウェブサイト (www.bmas.de/SharedDocs/Downloads/DE/zweiseitige-abkommen.html) には、該当する国、及び健康保険が適用されるかどうかの一覧が掲載されています。該当する場合は、通常、現在入っている健康保険はドイツでも有効です。(健康保険に関しては現在のところ、日本との間に協定は結ばれていません。)

もし自国で民間の保険に加入している場合は、その保険がドイツでも認められるかどうかを事前に調べておく必要があります。保険会社に問い合わせるのが確実です。もし認められている場合は、保険会社から証明書を発行してもらい、ドイツで大学に学籍登録する際に提示する必要があります。

現在入っている保険がドイツで有効でない場合は、ドイツで保険に加入する必要があります。民間保険に加入することも、学生料金で公的保険を選択することもできます。一部の安価な民間保険よりも高くなる場合もありますが、ドイツ学生互助会は、外国人学生には公的保険を推奨しています。そうすればドイツで病気になった場合にも手厚い治療を受けることができます。多くの場合保険料は月額約110ユーロです。

しかしこれは30歳未満の学生に限られます。30歳以上の学生は、任意で公的健康保険に加入するか、民間の健康保険を選択する必要があります。

ビザ

外国人学生にビザが必要かどうかは主に出身国によって異なります。

EU及びEEA加盟国の国民はドイツ留学に大学生ビザは必要なく、有効な身分証明書を持ってドイツに入国できます。一定の条件下では、これは他のEU諸国で学ぶための居住許可をすでに持っている学生にも適用されます。

また、その他のいくつかの国（日本、韓国、オーストラリア、イギリス、米国など）の国民も、事前のビザ申請なしで入国できます。ただし、留学目的の場合は有効な滞在許可が必要になります。これは、入国後に今後の居住地の外国人局で取得することもできます。あなたの国がこれらの国に含まれているかどうかは、ドイツ外務省のサイトで確認できます。www.auswaertiges-amt.de/en/visa-service/-/231148



健康保険と大学生のアルバイト

ドイツで一定の時間を超えて働くには、それに対応する健康保険に加入する必要があります。自国の保険がドイツで認められるかどうかに関わらず、たくさん働きたい場合はドイツでそれに応じた保険に加入しなければなりません。現在のところ上限は週20時間となっています。

これ以外の国の出身者は、出発前にビザを申請する必要があります。これは、自国にあるドイツの在外公館で行うことができます。そのためには、以下の書類が必要です。

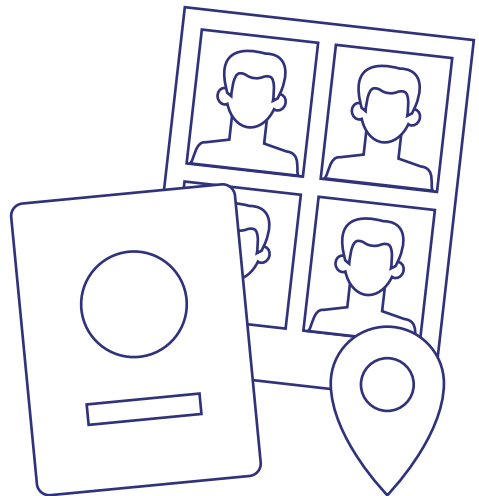
- パスポート
- 生体認証パスポート写真
- 記入済みの申請書
- 大学からの合格通知書
- 留学のための財源証明書

正しいビザ、つまり大学留学目的のビザ (Visum für Studienzwecke) を申請してください。観光目的のビザだけで入国することは絶対にしないでください。このようなビザを後から留学ビザに変更することはできません。

海外から専門人材を呼び込むための連邦政府のポータル Make it in Germany のウェブサイトでは、ビザの手順について図で説明しています www.make-it-in-germany.com/en/visa-residence/types/studying (セクション At a glance: Visa for studying 参照)

大学留学目的のビザを取得するのが一番なのですが、締切が厳しいことがよくあります。一般的な申請締切についてはあなたの国にあるドイツ大使館・総領事館のウェブサイトを確認してください。大学から合格通知を受け取ってからでは締切までに十分な時間がない場合もあります。そのため、事前に **Visum zur Studienbewerbung für ein**

Hochschulstudium というドイツの大学に出願するためのビザを申請することもできます。このビザの有効期間は 90 日間で、ドイツであなたの滞在地を管轄する外国人局により「留学申請を目的とした滞在許可」として合計 9 か月の滞在まで延長することができます。このビザの場合は、滞在期間全体の財源証明も必要です。他にも、健康保険、大学入学資格、語学力など、さまざまな証明書類を提出する必要があります。詳細についてはあなたの国のドイツ大使館・総領事館のウェブサイトを参照し、直接相談してください。





留学のための財源証明

財源証明書があれば、ドイツに留学するために十分な資金があることをドイツ大使館・総領事館に示すことができます。2024年9月現在、その額は年間11,904ユーロです。その証明としてほとんどの外国人学生はいわゆる閉鎖口座 (Sperrkonto) を開設し、その口座にこの金額があることを証明します。閉鎖口座は特定の条件を満たす必要があり、引き出せるのは毎月一定額のみです。また、この口座を閉じるには、大使館・総領事館又はドイツ入国後の管轄の外国人局の同意が必要です。閉鎖口座を提供する機関は多いため、ドイツ大使館・総領事館に相談してみるのがよいでしょう。

閉鎖口座を開設したくない場合は、ご両親がその収入と資産について証明書を提出するか、ドイツ在住者があなたの留学費用を負担することを証明することもできます。認定された奨学金の受給証明書や、ドイツに拠点を置く銀行からの毎年更新される銀行保証書も認められます。詳細については、連邦外務省のウェブサイトをご覧ください。www.auswaertiges-amt.de/en/visa-service/buergerservice/faq/-/606850 (When applying for a student visa, how can I prove that my financing is secure?)

重要：大学留学の目的のビザの有効期間は最長2年間ですので、学士課程の全期間には短すぎます。そのため滞在許可の延長申請を行う必要があり、それには再び財源証明書が必要になります。





ヒント：複数の大学に応募したものの、どの大学に入学したいかまだ決まっていない場合は、大学志願者ビザ Visum für Studienbewerbung を申請するのがよいでしょう。申請書を提出する際、あなたが留学する可能性が最も高い大学を指定します。後に別の大学で別の科目を専攻したとしても、それは問題ではありません。ドイツで大学志願者ビザを大学で学ぶための居住許可に変更できます。

1.5 渡航前に部屋を探すための ヒント

留学中の住居に関しては、おそらく自国では馴染みのないと思われることが2つあります。

- 合格通知を受け取ったとしても、住む部屋が自動的に割り当てられるわけではありません。ドイツで住むところは自分で探す必要があります。
- 一般的に、ドイツの民間住宅の部屋やアパートには家具が備わっていません。コンロ、シンク、冷蔵庫などのキッチン設備は必ずしも備わっているわけではありません。

ドイツの大学生向け住居の種類

多くの大学生が学生寮に住んでいます。特に外国人学生に人気があり、40パーセント以上が学生寮に住んでいます。部屋には家具が備わっており、家賃も平均で月額約250ユーロと非常に安価です。そして、学生寮に住めば一人ぼっちではなく、すぐに友達ができます。もう一つの利点として、自国から部屋の申し込み、賃貸契約の締結が可能です。

ただし、外国人学生はある程度優遇されるものの、早めに申し込んだとしても必ずしも部屋が確保できるとは限りません。申込者数が空室数を大幅に上回っているためです。ご参考までに、公的資金で運営される学生寮は24万戸弱ありますが、学生数は250万人です。したがって早めに申し込んでください。必ずしも合格通知を待つ必要はありません。

学生寮での生活

学生寮の部屋のタイプもさまざまです。専用の小さなキッチンとバスルームが付いているタイプもありますが、自分の部屋はあるがバスルームやキッチンは共同で使うフラットシェア、いわゆる WG の方が一般的です。WG の人数は、場合によって異なります。同居人は 1 人だけの場合も、6 人になる場合もあります。ドイツでは相部屋は珍しく、事実上提供されていません。男女別のフラットシェアも珍しく、フラットシェアには原則として女性も男性も一緒に住んでいます。これが気になる場合は、性別が指定されている住居を民間住宅市場で探すことになるでしょう。

多くの学生寮は学生互助会 (Studentenwerk 又は Studierendenerk) によって運営されています。DAAD の学生寮検索データベースでは 170 以上の大学所在地にある約 1,200 の寮を検索することができます (www.daad.de/accommodationfinder)。また、家賃は高くなりますが、ドイツの大きな教会も独自の学生寮を運営していますし、民間の業者もいくつかあります。



学生互助会 (Studentenwerk 又は Studierendenerk) のサービスパッケージ

2023 年 7 月現在、ドイツの 16 の学生互助会が外国人学生向けのサービスパッケージを提供しています。一種のウェルカムパッケージで、学生寮の部屋も必ず含まれています。多くの場合、ゼメスターチケット、カフェテリアのクーポン、又は保険も含まれており、場合によってはベッドリネン、食器、自転車も含まれています。希望する大学の学生互助会からそのようなパッケージが提供されているかどうかチェックしてみましょう。

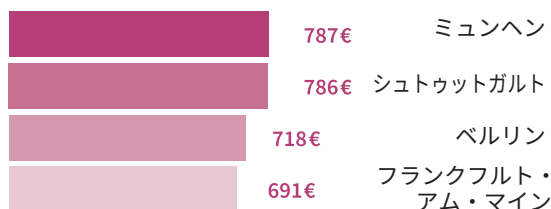
学生寮以外ではWG（フラットシェア）も良い選択肢として挙げられます。WGはWohngemeinschaftの略です。WGでは自分の部屋がありますが、バスルーム、キッチン、場合によってはリビングルームやバルコニーなどの共用エリアを同居人と共有します。利点は明らかで、通常、いくつかの設備、特にキッチンの設備が備わっていますし、多くの場合、部屋には少なくとも部分的に家具が備わっています。また、他の人と一緒に住むと費用を大幅に安く抑えられますし、孤独になることもありません。ドイツでは、学生の間でWGは一般的で、ほぼ3人に1人がWGに住んでいます。

WGの住居費

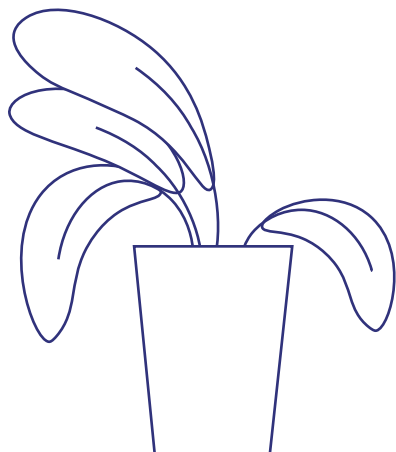
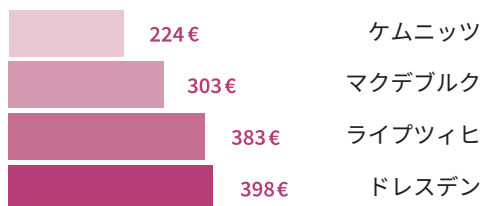
最近の調査によると、ドイツの学生は、2023年の夏学期に標準的なWGに月額平均458ユーロを支払っていました。最も高かったのはミュンヘン（720ユーロ）、ベルリン（640ユーロ）、フランクフルト・アム・マイン（580ユーロ）でした。学生の家賃が最も安い場所はケムニッツで、ここでの平均コストは月額わずか253ユーロでした。基本的に、ドイツ西部の主要都市や伝統的な大学都市の家賃は高いと考える必要があります。

小さなアパートの住居費（30平方メートル、光熱費（20%）込み）

最も高い4都市



最も安い4都市





ヒント：ほとんどの課程は冬学期に開始し、夏学期に開始する課程はわずか10%です。つまり夏学期開始の課程に留学する場合、住居探しははるかに簡単になります。また、学期中は住居を探す人が少ないため、探しやすくなります。最初の数週間又は数か月はマンスリー／ウィークリーアパートに住んで学期中に住居探しするののも一つの方法です。

フラットシェアや学生寮に住みたくない場合は、民間の小さなアパートを探すこともできます。ただし、これにはさらに多くの予算が必要です。

ドイツ国外から民間のWGやアパートを契約するのは難しい場合があります。しかし、自分の国から調べることはできずし、場合によっては内覧の予約を取ることできます。また、一時的な解決策として、住人が現在海外に行っているために期間限定で貸し出される部屋を探すことも選択肢の一つです。このような部屋は、ドイツにいなくても契約できることがよくあります。

Wohnen für Hilfe（お手伝いを条件に住まわせてもらう）

ドイツでは、家を引き払うにはお金がかかるという理由で、子供たちが出て行った後も空き部屋のある住宅に住み続けている高齢者が珍しくありません。Wohnen für Hilfe という制度では、家事やガーデニングの手伝いと引き換えにこのような部屋が提供されています。原則として介護は手伝いには含まれません。ひと月あたりの手伝いの時間は、基本的に、居住空間1平方メートルあたり1時

間が想定されています。借りる側はガス、水道、電気などの追加費用のみ支払う必要があります。Wohnen für Hilfe 制度がある都市はこちらでご覧いただけます。www.wohnenfuerhilfe.info

住居が決まらないままドイツに到着した場合

すべてがうまくいかず、住居が決まらないままドイツに来た場合はどうすればよいのでしょうか？いずれにしても、最初の数日又は数週間住めるところを事前に確保しておく必要があります。留学先の大学に一時的に入居できるゲストハウスがあるかもしれませんので必ず大学のInternational Office に問い合わせてください。それ以外の場合は、B&B や休暇用アパート、ホステルに住むことができます。しかし、数日間だけならまだしも、長期的にそのような宿泊施設に住むのは金銭的に大きな負担になります。

部屋探しのための詳細情報

インターネット上にはたくさんの物件情報があります。Wohnung suchen（アパート探し）、Wohnung finden（アパート検索）、WG（フラットシェア）などのキーワードを使用してオンラインで調べることができます。以下にいくつかのリンクをご紹介します。

学生寮を探す：

- DAAD accommodation finder：www.daad.de/accommodationfinder
- 現地の学生互助会（Studentenwerk 又は Studierendenwerk）：www.studierendenwerke.de/en/topics/accomodation/student-halls-of-residence/applying

フラットシェアを探す：

- WG-Gesucht.de: www.wg-gesucht.de
- Housing Anywhere: housinganywhere.com
- Kleinanzeigen: www.kleinanzeigen.de

民間アパートを探す：

- Immobilienscout24: www.immobilienscout24.de
- Immowelt: www.immowelt.de

重要：大学の掲示板や地元の新聞の広告欄もとても役立ちます。多くの場合オンライン版がありますので、広告に掲載されている物件を自宅から閲覧できます。

1.6 チェックリストとスケジュール

18 か月前

どのような留学をしたいのか考えをまとめ、ドイツの大学にどのような課程があるのかを調べる

情報を入手する：

- www.study-in-germany.de/en/
- www.daad.de/en/
- www.daad.jp

最初の問い合わせをする：

- DAAD の事務所 (www.daad.jp)
- 自分の大学のドイツ人教員
- 自国で開催される留学フェア

以下について明らかにしておく：

- 留学期間
- Bachelor や Master など取得したい学位
- 専攻科目
- 希望する専攻科目が学べる大学

15 か月前

希望する専攻科目の課程の出願要件を満たしているかを確認する

- 卒業証明書、成績証明書：ドイツの大学に入学する要件を満たしているか？希望する専攻科目の課程の要件を満たしているか？
- 語学力：ドイツ語力や英語力は要件を満たしているか？さらに上のレベルの証明書が必要か？
- 留学費用：留学にかかる費用が十分に用意できるか？奨学金に応募できるか？

12 か月前

出願に必要な書類と出願手順

- 出願に必要な書類を確認する：特に大学入学に必要な証明書及び語学証明書は認証コピーとして、場合によっては認証翻訳の認証コピーとして提出する
- どこに出願するかを確認する：uni-assist、Stiftung für Hochschulzulassung、大学に直接など
- 出願期間を確認し、出願書類をいつまでに提出しなければならないかを承知しておく

6 か月前

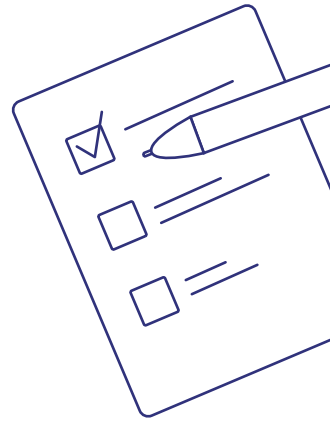
ドイツへの渡航方法と必要なもの

- ドイツへの渡航方法を定める
- 入国にビザが必要かを確認する。ビザが必要な場合、どのビザが必要か、その申請方法、必要な証明書類（財源証明、健康保険など）、そしてビザを受け取れるまでにどれくらいの時間が必要かを知っておく。課程の出願期限と課程の開始日が近すぎてビザが間に合いそうにない場合は、Visum zur Studienbewerbung für ein Hochschulstudium というドイツの大学に出願するためのビザを申請できることを知っておく。
- 予防接種などの健康上の予防策を講じる必要があるかどうかを確認しておく

4 ~
5 か月前

すべての出願書類を提出する

- 出願期限内に出願書類を提出しておく
- 学生寮に住みたい場合は、大学からの正式な入学許可が届いていなくても学生寮に申し込む



3 か月前

住む場所

- 学生寮に入れるという通知が来ていない場合、又は、学生寮の申し込みが受け付けられなかった場合は、広告を探して部屋の申し込みをするなど、あらゆる手段で住居を探す
- いずれの場合も、ドイツ到着直後の最初の数日間の宿泊先を確保しておく

2 か月前

出発へのカウントダウン：準備がすべて整っているか確認

- 渡航の予約が済んでいる
- 部屋探しのための準備は完了しており、ドイツ到着直後の数日間に泊まるところが確保されている
- 閉鎖口座の開設が済んでいる（ビザのために必要な場合）
- 加入している健康保険がドイツで有効であることを確認してある
- 渡航に必要な書類がすべてそろっており、それらがすべて有効であることを確認してある（次のセクション参照）
- ドイツの気候を考慮して持ち物リストを作成する。冬学期から留学を始める場合は、冬服を荷物に加える

最終
チェック

重要な書類がすべて揃っているか

- 有効なパスポート又は身分証明書
- 大学からの合格通知書又は出願の確認書
- 出生証明書（原本又は翻訳され、認証されたコピー）
- 高校卒業証明書、成績証明書（原本又は翻訳され、認証されたコピー）
- 大学の卒業証明書、成績証明書及び語学証明書（原本又は翻訳され、認証されたコピー）（必要な場合）
- ビザ（入国に必要な場合）
- 留学のための財源証明書（必要な場合）
- 現在加入している健康保険がドイツでも有効であることを示す確認書又はヨーロッパの健康保険証（必要な場合）
- ワクチン接種証明書（必要な場合）

書類はすべてそろっていますか？それでは良い旅を、そしてドイツでの良いスタートを！





Learn more about Rostock.

#HelloGermany

← **YOUR FIRST
KITESURFING LESSON**

↓ **DEEP DIVE FROM
HERE INTO OCEAN
BIOLOGY**

TO THE BEACH THIS WAY →

HELLO STUDY ADVENTURE

Germany has a lot to offer. In addition to excellent study conditions, there are a variety of interesting places and activities to discover. Like here in Rostock.

Learn more at [study-in-germany.de](https://www.study-in-germany.de)

AN INITIATIVE OF THE



Federal Ministry
of Education
and Research

Study in
Germany



Land of Ideas

2 ドイツ到着直後にすべきこと

ドイツに到着したら、最初の数日から数週間のうちにやるべき手続きがいくつかあります。留学先の大学の学籍登録を、本人が大学の窓口に出向いて行う必要がある場合は、期限内に学籍登録をすることが重要です。また、ドイツの滞在許可の申請など、役所で行う必要のある手続きもあります。大学での講義やゼミなどの時間割も作成する必要があります。

これらはすべて大変なことに思えるかもしれませんが、大変なタスクをこなすことで成長できますし、また、すべてを1人で行わねばならないわけでもありません。あなたをサポートしてくれる窓口がたくさんあります。

ドイツでの留学をできるだけスムーズにスタートできるよう、この章ではそのような窓口についてご紹介します。



ヒント：渡航計画を立てるときは、ドイツに到着するのが週末（土曜日又は日曜日）にならないようにすることをお勧めします。銀行や役所と同様に大学の留学生課は土曜日も日曜日も休みですので、あなたが学生寮に入居することが決まっても、担当者がいないため鍵の受け渡しが困難になることがあります。ドイツでは日曜日はすべての店が閉まっていますので買い物もできません。

2.1 International Office 最も頼りになる窓口

ドイツに着いたら、大学における最も重要な連絡窓口は、大学の International Office です。

International Office では、ドイツでの最初の数日間に必要なすべての情報を得ることができます。多くの場合、必要な

役所での手続きや学籍登録についてサポートを受けることができます。また、International Office で部屋探しのアドバイスを受けられることも多いです。

特に学生寮に住む場合は、地元の学生互助会 (Studentenwerk 又は

Studierendenwerk) も重要になるかもしれません。例えば、学生寮の部屋の鍵はドイツ到着後に学生互助会の担当者から受け取ります。その後も学生互助会とはカフェテリアでのランチや学生互助会主催のスポーツ、語学コースなどでも、頻繁に関わりがあります。学生互助会は学生のために幅広い情報やアドバイスを提供しています。

2.2 大学での学籍登録

大学の課程の入学が許可された時点でその大学の学生になるのではなく、学籍登録 (Einschreibung / Immatrikulation) が完了した時点で学生になります。一部の大学では学籍登録をオンライン又は郵送で行っているため、ドイツ入国前に学籍登録を行うことができます。しかし多くの大学では、学籍登録は本人が実際に大学の窓口に出向いて行う必要があるため、学籍登録期限に間に合うようにドイツに到着することが不可欠です。

手続きの正確な手順と期間は合格通知書に記載されています。手続きに必要な書類も記載されており、多くの場合以下の書類が含まれます。

- 合格通知
- 健康保険証
- 学期共済費 (英: Semester fee、独: Semesterbeitrag) の支払い証明書
- パスポートの写真
- 身分証明書又はパスポート、必要に応じてビザ
- 場合によっては卒業証明書・成績証明書の原本

不明な点については、事前に大学の International Office 又はアドミッション・オフィスに確認してください。そうすることで、学籍登録に必要なすべての書類をそろえて手続きをスムーズに行えます。

学籍登録後、学生証、及び場合によってはゼメスターチケットが多くの場合郵送で届きます。これでああなたは正式にドイツの大学の学生となり、授業に参加したり試験を受けたりすることができます。図書館やスポーツ施設などの大学施設も利用できます。さらに、文化施設を学割で利用できるようになります。



2.3 新居で最初にやるべき手続き

ドイツに引っ越したら、役所で行うべき手続きがありますので準備をしておくことが必要です。ドイツで手続きをしなければならぬ役所、あなたの居住地を担当する部署をインターネットで事前に調べておきましょう。



役所検索のヒント Behördenfinder: ドイツの役所は Behörden と呼ばれます。あなたを担当する役所が分からない場合は、umziehen.de/behoerdenfinder で検索することができます。郵便番号又は都市名を入力すると、さまざまな手続きを担当する役所が表示されます。

自身に関係する手続きの期限を必ず事前にオンラインで確認し、期限内に役所の担当部署に予約を取ってください。場合によっては予約を取るのに数週間待たなければならない場合があります。必ず大学の International Office に相談しながら進めてください。大学の International

Office はこれらの手続きに関する経験があるため、アドバイスや実際のサポートを受けることができます。

そして同時に忍耐力が必要です。役所の手続きには時間がかかります。



通訳についてのヒント: ドイツ語にまだあまり自信がない場合は、役所に行くときにドイツ語がよくできる人に同行してもらう必要があります。役所のドイツ語は非常に複雑な場合があるため、通訳してくれる人がいればおそらく手続きが楽になるでしょう。大学の International Office に適切な同行者を紹介してもらえないか相談してみましょう。

2.3.1 住民登録事務課

ドイツに住むすべての人は法律により住民登録事務課 (Einwohnermeldeamt) に登録する義務があります。住居が決まり次第、最初の手続きの一つとして住民登録事務課に行き、登録用紙に記入します。

この書類は安全な場所に保管してください。この登録はほとんどの事務所で無料です。

この手続きの期限は2週間しかありませんので、遅れないようにしてください。

住民登録事務課

Einwohnermeldeamt (住民登録事務課)、Bürgerbüro (住民事務所)、Bezirksamt (管区庁)：これらはすべて住民登録事務課を表す役所の名前です。大都市では待ち時間が長くなることもあるので、可能であれば事前にオンラインで予約してください。そうすれば長時間待つ必要がなくなります。もし期限内に予約が取れなくても心配しないでください。この期限内に予約したことを証明する必要があるだけです。

住民登録事務課に登録するには以下の書類が必要です。

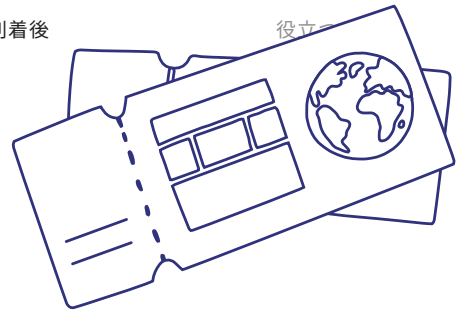
- パスポート (場合によってはビザ又は身分証明書も必要)
- 家主からの入居確認書

ドイツ滞在にビザが必要ない方は、住民登録事務課から滞在権の証明書を直接受け取ることができます。さらに、健康保険に加入しており、生活費をカバーするお金を用意できることを証明する必要があります。

注意：その後、ドイツ国内で引っ越した場合は、同じ都市内であっても再度この手続きを行って新しい住所を住民登録事務課に届け出る必要があります。

2.3.2 外国人局

ドイツ入国にビザが必要だった方、入国後にビザ申請が必要な方は、外国人局 (Ausländerbehörde) での手続きが必要です。これは、地方自治体つまりあなたの居住地において移民法や滞在許可に関するあらゆる手続きを担当する役所です。



滞在許可は外国人局で申請します。滞在許可の申請はドイツ到着後3か月以内に、管轄の外国人局に本人が直接出向いて行う必要があります。

原則として、次の書類を提示する必要があります。

- パスポート（場合によってはビザも必要）
- 住民登録事務課からの登録確認書
- 健康保険証
- 在学証明書
- 場合により：財源証明書、健康証明書、賃貸契約書、生体認証パスポート写真

自分に必要な書類は外国人局のウェブサイトなどで事前に調べておいてください。予約日には、これらの書類をすべて必ず手元に用意しておく必要があります。もしかしたら使わない証明書があるかもしれませんが、足りないよりは良いでしょう。予約日に不足書類があると、多くの場合、再度予約をとり直さなくてはなりません。

また、手続きには手数料がかかります。手数料は通常は約100ユーロです。事前に管轄の外国人局で手数料を調べておいてください。

大学のInternational Officeには、滞在許可に関してよく知っている経験豊富な担当者もいますので相談することができます。

滞在許可証はelektronischer Aufenthaltstitel（電子滞在許可証（eAT））というカードになっており、あなたに関する特定のデータが保存されたICチップを備えています。このカードは、申請から約4～6週間後に外国人局で直接受け取ることができます。eATは最長2年間有効です。留学がこれより長くなる場合は、有効期限が切れる前に滞在許可を延長する必要があります。

重要：滞在許可の延長申請をする場合、一方では、学業が順調に進んでいること、つまり標準在籍期間内であることを証明する必要があります。さらに、留学生生活をカバーするお金が用意できることも証明しなければなりません。例えば閉鎖口座に相応の残高があることなど、留学のための財源証明書を再度提示する必要があります。

2.4 履修計画

大学で学ぶことは、学校に通うよりもはるかに自由であり、ドイツの大学ではその自由度が特に高いと言えます。例えば、学期の初めに決められた時間割を渡されてこの通りに履修してくださいと言われるようなことはありません。つまり、ある程度の制限はありますが、自分の興味に最も合うように大学での履修計画をたてることができます。その代わりに自立と自主性が求められます。この章ではそのために役立つ基本的な情報を提供します。



大学の構成について

Fakultät / faculty (学部)、Fachbereich / department (領域)、Institut / institute (研究科)、Seminar/ seminar (ゼミナール) など、ドイツの大学の組織を表すさまざまな単語があって混乱しますが実はシンプルです。個々の Fachgebiet がまとめられたものが例えば社会科学 Fakultät といった Fakultät や Fachbereich です。これは、個々の Institut 又はゼミナールで構成されています。社会科学の例で言うと、例えば政治学 Institut は社会科学 Fakultät の一部です。Insitut にはそれぞれ、教授やその他の教員が所属する Lehrstuhl (講座) があります。通常、同じ Institut 内の研究室は同じフロア内又は Institut ごとの研究棟に集まっていますので、見つけやすくなっています。

もちろん、履修計画を立てる際にもサポートを受けられます。学部の学生会や学生代表委員会が主催する説明会や歓迎イベント、International Office が開催するオリエンテーションイベントに参加してみてください。大学図書館の案内ツアーやイベントもありますので日程をチェックしましょう。

次に、時間割の作成方法について説明します。各課程の履修規定には、どのモジュールを修了する必要があるかが規定されています。モジュールは多くの場合、テーマが関連するさまざまな授業で構成されています。これらの授業をどのよう

に組み合わせるかは自由です。多くの場合、このモジュールではこの授業を取りたい、というように選択することができます。

適切な選択ができるように、自分の課程の講義目録 (シラバス) を入手してください。コメント付きの講義目録があればそちらの方がよいでしょう。多くの場合、大学のウェブサイトにもオンラインで提供されています。講義目録にはすべての授業についてその内容と形態について書かれています。また、授業で得られる単位数も含まれます。



ヒント：興味深いテーマのゼミナールや、人気の高い担当講師のゼミナールは特に希望者が多いため、早めに申し込んでください。

授業には一般的に以下のようなタイプがあります。

- **講義**：多くの場合、講義には大人数の学生が参加します。そのため、授業では主に教員の講義を聴き、ディスカッションが行われることは稀です。
 - **ゼミナール及び講座**：参加者の数は限られており、授業はインタラクティブに行われます。多くのディスカッションも行われます。
 - **補習授業**：補習授業は主に講義やゼミナール、講座の内容を深めるための演習を目的としています。したがって、演習と呼ばれることもあります。
 - **復習**：ここでの目的は、すでに学んだ内容を復習し、試験に向けて準備することです。
- 多くの授業では試験を受ける必要があります。試験はそれぞれ大きく異なる場合があります。
- **筆記試験**：授業のテーマに関する筆記試験です。多くの場合、学期末又は学期休み中に行われます。
 - **期末レポート**：事前に決めたテーマについてレポートを書きます。通常は学期休み中に作成しますが、学期末までに提出が求められることもあります。
 - **プレゼンテーション**：特定のテーマについて口頭で発表するもので、学期中に行われます。
 - **口頭試験**：筆記試験ではなく授業のテーマについて口頭試験が行われる場合もあります。口頭試験も通常、学期末又は学期休み中に行われます。

ECTS 単位

ドイツでは、学位を取得するために必要な学習量を計るためにヨーロッパ単位互換評価制度（ECTS）が使用されています。1単位は25～30時間の学習量に相当します。標準在籍期間内に課程を修了するには、多くの場合、学期ごとに約30単位を取得する必要があります。学士課程の学位取得には180～240単位が、修士課程では60～120単位が必要です。大学での勉強には時間がかかりますね！

2.5 その他のサポート

International Office や 地 元 の 学 生 互 助 会 (Studentenwerk 又 は Studierendenwerk) は、手続き関係のサポートをしてくれるだけでなく、いろいろな人と知り合えるイベントも開催しています。また、特別サポートが提供されていることもあります。

ほとんどの International Office では到着したばかりの外国人学生向けに特別なサポートを提供しており、特別な説明会、単発のウェルカムイベント、1週間続くウェルカムウィークなどがあります。駅や空港まで迎えに来てくれる出迎えサービスを利用できる場合もあります。



ヒント：ほとんどの大学では、外国人学生のための歓迎イベントだけではなく、居酒屋での飲み会や市内ツアーなど、新入生全員を対象とした交流イベントもあります。各学生会が新入生向けにこのようなイベントをよく開催していますのでぜひ参加してください。同じく最近この街に引っ越してきてつながりを探しているドイツ人学生や他の外国人学生と知り合うチャンスです。このようなイベントから一生続く友情が生まれるかもしれません！

一般的に、International Office ではないわゆるバディプログラムを設けています。このプログラムは外国人学生と、バディとなる人とを引き合わせるもので、バディは、役所の手続きへの同行、日常生活や勉強に関する問題が起きた時のサ

ポートを引き受けてくれます。多くの場合、バディは経験豊富な上級生です。興味がある場合は、バディを紹介してもらえるかを International Office に問い合わせしてみてください。



ヒント：市などがバディプログラムを提供している場合もあります。その場合、バディは必ずしも学生であるとは限りません。外国人学生がドイツでの生活に慣れるのを手助けしたいと考えている人々で、年配者であることが多いです。世代を超えた友情が生まれるかもしれません。興味のある方は市役所に直接問い合わせてください。

寮に住んでいる場合は、寮のチューターが寮での生活をサポートします。住んでいる学生寮にチューターがいるかどうかは学生互助会（Studentenwerk 又は Studierendengericht）に問い合わせてください。

さらに、各大学には学生代表委員会があります。学生の関心事を大学運営側に伝えるためのこの学生代表委員会は学生自身によって選出され、多くの場合 AStA (Allgemeiner Studierendenausschuss)、StuRa (Studierendenrat)、又は StuPa (Studierendenparlament) と呼ばれます。大学でスポーツ、文化、レジャーのプログラムを企画したり、住居やアルバイト探しについてアドバイスを提供したりすることもよくあります。また、言語コースを提供していることもあります。あなたの大学の学生代表委員会が何を提供しているかを調べてみましょう。

特に外国人学生のための外国人学生グループが存在することもよくあります。主な目的は、新入生が他の学生とすぐに知り合えるようにすること、パーティー、小旅行、定期ミーティングを企画することです。

勉強に関係する疑問点については学部学生会に相談して明確にしておくのがベストです。学部学生会とは、各学部の学生の利益を代表する、選出された学生のグループで、単に学生会と呼ばれることもよくあります。学生会は、例えば履修計画の作成や、大学で分からないことがある場合のサポート等を行っています。また、学生同士の交流にも力を入れており、新入生向けの説明会やパーティーも学部学生会が行っています。

その他の関連機関

- 連邦移民・難民局 (BAMF)：移民に関するあらゆる事項についてアドバイスします (www.bamf.de/EN/)
- 連邦雇用庁 (BA)：求職活動をサポートし、雇用に関する承認を行う場合もあります (www.arbeitsagentur.de/en)
- 健康保険会社：健康保険に関連するあらゆる事項の担当窓口です (www.daad.de/health-insurance も参照)
- 税務署：納税者番号、納税申告書など、税金に関連するすべての事項を担当します (www.finanzamt.de)





3 留学生活のための役立つヒント

前の章ではドイツでの留学生活のスタートについてお話ししました。この章ではドイツでの留学生活を充実させるためのヒントをお話しします。留学生活ですばらしい経験をするには、ほとんどの人にとって単に大学で目的の勉強をおさめること以上の意味を持ちます。この章では、人とつながり、友達を作る方法について説明します。また、大学で勉強しながらドイツ語力を向上させ、働く経験を積むにはどうすればよいかについても説明します。ドイツが好きになって、予定していた留学を終えた後もドイツに残りたいと思うかもしれません。それも可能ですので、どうすれば実現できるかもご紹介いたします。

とはいえ、外国に引っ越して生活することは必ずしも簡単ではありません。そこで、問題が発生した場合にできることは何か、サポートが必要な場合はどこに相談すればよいかを具体的に説明します。

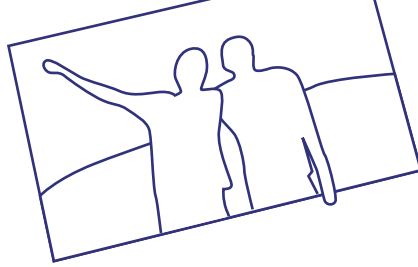
3.1 人とつながり、新しい友達を作る

ドイツでどれだけ楽しく過ごせるかを決めるのは、大学での勉強がうまくいくことだけではありません。ドイツでの生活を楽しむには、新しい知り合いを作り、自由時間を一緒に楽しく過ごせる人々に出会うことも大事です。

学生数が多い大規模な大学では、これは少し難しいのではないかと思うかもしれませんが、しかし、あなたと同様、周囲の学生の多くも、引っ越してきたばかりで新しい知り合いを探しているのです。つまり、まだ知り合いがないのは自分だけだと心配する必要はありません。勇気をもって最初の一步を踏み出してください。他の人もおそらく内気になっているだけかもしれません。他の学生に話しかけて、知り合いになる機会を活用してください。ここでは、知り合いを作るための簡単な方法をいくつか紹介します。

大学では、例えばエラスムス・プラス制度の留学生を含め、外国人学生のためにさまざまな種類のオリエンテーションイベントが提供されています。こういったイベントがいつ開催されるかについては、International Office、学部学生会、又は学生代表委員会に問い合わせてください。そして、是非そこに参加しましょう！このようなイベントで、同様につながりを求めている新入生と出会うことができます。

International Office、学部学生会、又は学生代表委員会はまた、例えばパブ、カフェ、レストランに定期的に集まって楽しむ会（ドイツ語で *Stammtisch*）も開いています。また、夜に皆で集まって料理をして一緒に食べることもよくあります。このような会では気軽に集まって他



の人とおしゃべりすることができます。ここで知り合った人と、今度一緒に何かをしよう、という話になるかもしれません。

大学で定期的に開催されているパーティーに参加して新しい人と知り合うこともできます。

さらに、各大学には特定の活動を行うさまざまな学生グループがあります。歌うのが好きなら大学の合唱団に参加してみましょう。演技が好きなら、多くの大学には参加できる演劇グループがありません。議論が好きであれば、ディベートクラブや政治関連の学生グループがおすすめかもしれません。大学のウェブサイトで、大学にどのようなグループがあるか確認してみてください。

信心深い人であれば、大学の宗教コミュニティも役に立つかもしれません。世界のあらゆる宗教の学生グループがあり、お祈りをするだけでなく、皆で出かけるイベントやパーティーなども企画しています。

英語で学ぶ課程で知り合いを作る

英語で学ぶ課程で勉強している人は、まだドイツ語をよく話せなくても、楽に新しい知り合いを作れるでしょう。英語で学ぶ課程の学生の多くは外国から、又は少なくとも国内の別の都市から来ており、あなたと同じように新しい知り合いを求めています。

あなたがアクティブな学生であればスポーツももちろん新しい出会いの場です。大学ではさまざまなスポーツクラスが設けられています。近くに海や大きな湖があれば、セーリングなどのウォータースポーツのクラスもあります。サッカーなどの球技やバドミントンなどのラケットスポーツ、体操、ランニング、ヨガなどはどこでも開催されています。これらの活動のほとんどは無料であることもメリットです。大学のウェブサイトでどんなスポーツのクラスがあるか探してみましょう。

ソーシャルメディアもチェックしてください。どの大学も Facebook や Instagram その他を運用しており、イベントや締切などはこれらのページに掲載されています。ここで最初の連絡先を見つけることができるかもしれません。Study in Germany もこのようなソーシャルメディアで情報を発信しています。

3.2 ドイツでドイツ語を学ぶ

現在学んでいる課程ではドイツ語力が求められない場合でも、日常生活のためにドイツ語を少し知っておくことは重要です。ここでは、ドイツ留学中にドイツ語を向上させる方法をいくつかご紹介します。

ドイツでは自分のレベルに合った語学コースを受講できます。自分に合ったコースについては、大学の語学センターなどに問い合わせてください。学期中に専攻の勉強と並行して無料で受講できることも多いです。

他にも公的機関及び民間事業者が提供する語学コースが数多くあり、Goethe-Institut、Volkshochschule、Deutsche Welle (DW) は非常によく知られています。また、お住まいの地域に民間の語学学校があるか、オンライン語学コースが提供されているかも調べてみましょう。これらのコースには受講料がかかります。

サマーコースへの参加も検討する価値があります。学期休み中に特に語学力の向上に取り組むことができます。多くの大学がさまざまな言語レベルのサマーコースを提供しています。www.daad.de/summerschols.de で自分に合ったコースを探してみてください。サマーコースも通常は料金がかかります。

語学コースに参加しなくても、例えば Sprachtandem (言語タンデム) に参加

して語学力を向上させることもできます。Sprachtandem では、お互いの母国語を学びたい2人が定期的に会って、一緒に2つの言語を練習します。このような Sprachtandem はよく International Office が仲介していますので、問い合わせしてみてください。また、ソーシャルメディアやオンラインサイトで適切なパートナーを見つけることもできるかもしれません。大学がこのようなサービスを運営している場合もあります。

3.3 インターンシップやアルバイトで実務経験を積む

ドイツ留学は、ドイツの雇用市場を知る良い機会でもあります。特にドイツの大学を卒業した後もドイツに残ることを考えているのであれば、ぜひこうした機会を活用してください。

これには基本的に、在学中にインターンシップに参加する、アルバイトをする、という2つの方法があります。



ヒント：日常の中で自分のドイツ語力を試してさらに上達させるには、とにかく話してみるのが一番です。他の学生と一緒にコーヒーを飲みに行ったり、パーティーに行ったりしてドイツ語で話してみましょう。クラブでボランティアをしたり、映画を見たり、テレビでドイツ映画を見たりしましょう。英語が流暢であっても英語で話したいという誘惑を抑えて、ドイツ語で話す機会を増やしましょう。

3.3.1 インターンシップ

インターンシップでは、あなたの専攻分野での最初の実務経験を積むことができます。例えば、現在大学で学んでいる内容のうち興味のある分野でインターンシップを行ってその分野の学びをさらに深めて専門知識を得ることができます。一方で、インターンシップを行うことにより、特に好きな仕事のタイプに気づくことも、逆に、あるタイプの仕事がまったく自分に合っていないことに気づくこともあります。このような経験は、将来の仕事を考えるときにも重要です。さらに、インターンシップを通じて学外でのつながりを作ることができ、これは、将来のキャリアに役立つ可能性があります。

現在学ぶ課程においてインターンシップが必修でなくても、自主的なインターンシップを行うことができます。このようなインターンシップには、大学生のアルバイトと同じ法的規制が適用されます。つまり、EU 又は EEA 以外の国からの留学生は、年間 140 日までは外国人局や雇用エージェンシーの許可なしに働くことができます (2024 年 3 月より)。これについては、次章「アルバイト」で詳しく説明します。

一方、大学の課程の中には必修インターンシップが組み込まれているものがあります。あなたの課程がこれに該当するかについては履修規定を確認してください。履修規定には、インターンシップの期間、活動、場合によってはインターンシップの場所に関する詳細情報も記載されています。あなたが学ぶ課程に必修インターンシップが含まれている場合、通常は必修インターン担当の職員がいますので、相談時間内に訪ねて有益なアドバ

イスをたくさん受けておきましょう。企業や機関からの具体的な求人情報が得られる場合もあります。重要なことは、必修インターンシップには、自主的なインターンシップやアルバイトとは異なる規則が適用されることです。必修インターンシップに参加する場合は、EU 又は EEA 以外の国の出身者であっても、特別に許可を得ることなく年間 140 日を超えて働くことができます (2024 年 3 月より)。また、必修インターンシップは、自主的なインターンシップやアルバイトに許されている年間 140 日にはカウントされません。

オンラインのインターンシップ情報サイトは、ドイツでのインターンシップ先を見つけるのに役立ちます。多くの学部や学科がこのようなインターンシップ情報サイトを持っており、また、大学のキャリアセンターが運営していることもあります。また、特定のキャリアや業界に特化したオンラインのインターンシップ情報サイトもあります。そして、周囲の学生にもいろいろ聞いてみましょう。もしかしたら、インターンシップに関する有益な情報をもらえるかもしれません。

ヒント：必修インターンシップのための要件は履修規定に記載されています。あなたが行うインターンシップがこれらの要件を満たしていることを確認するために、事前にインターンシップの承認を得る必要があります。承認は通常、所属する学部のインターンシップ担当者によって行われます。後からそのインターンシップが認められないという危険を避けるため、必修インターンシップは必ず事前の承認を得てから開始してください！



インターンシップの賃金

ドイツには最低賃金があり、2023年現在は時給12ユーロです。しかし、インターンシップにこの最低賃金が常に適用されるわけではありません。例えば必修インターンシップの場合、これより低い場合もあります。また、自主的なインターンシップであっても、最低賃金が適用されるのはインターンシップが3か月を超えて続く場合のみです。つまりほとんどのインターンシップでは賃金を受け取る法的な権利がないことになります。インターンシップを探す際にはこれをよく考慮し、インターンシップ先から賃金が支払われるかどうか、また、支払われる場合はいくら支払われるかを事前に確認してください。

インターンシップの詳細については www.daad.de/internship をご覧ください。

3.3.2 アルバイト

アルバイトをするとドイツでの仕事の経験を積めるのと同時に、いくらかの収入を得ることもできます。ただし、大学の勉強には多くの時間がかかることも忘れないでください。アルバイトで留学費用全体をまかなうことはほとんどできませんし、そもそも大学生に許される労働時間数には規則があります。

EU 又は EEA の国からの留学生の場合は、ドイツの労働市場においてドイツの大学生と同じ権利があります。労働市場において自由に働けますが、週20時間を超えて働く場合は保険料を支払う必要があります。また、毎週このように長い時間働くこと、学業にも支障をきたします。

EU 又は EEA 以外の国からの留学生には、次の規則が適用されます。

- 年間140日（フルタイム）又は280日（半日）までは労働許可を得ずに働くことができます（2024年3月より）。自営業やフリーランスの仕事については、ケースバイケースで確認する必要があります。
- これ以上働きたい場合は、管轄の雇用エージェンシー及び外国人局の許可を得る必要があります。
- 大学で研究助手として働く場合は例外となります。この場合は時間に制限なく働くことができますが、外国人局に通知する必要があります。

詳細については www.daad.de/job をご覧ください。

学生のアルバイトは実にさまざまです。大学で学生助手又は研究助手として働いている人も多くいます。学部で雇用されて、教授のために調査をしたり、図書館で働いたり、補習授業を受け持ったりすることができます。これらの仕事には2つのメリットがあり、1つは、通常適用

される一週間あたりの最大労働時間の制限を受けないこと、もう1つは、自分の専攻に関連した分野で働けることです。

大学の外での大学生の典型的な仕事としては、カフェ、バー、クラブのスタッフ、又は見本市や宅配サービスなどです。企業の中には Werkstudierende と呼ばれる勤労学生を雇用しているところもあります。この場合、自分の専攻分野に関連する仕事を探すことができますが、多くの場合、大学ですでに数セメスター勉強している必要があります。

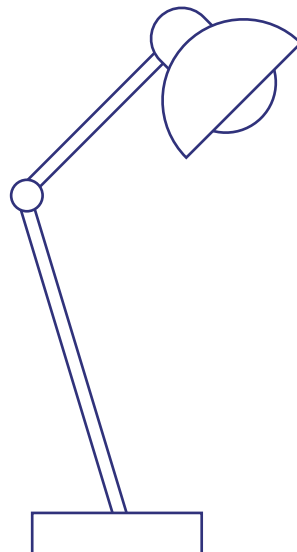
仕事を探すには大学の求人情報サイトをチェックしてみてください。また、地元雇用エージェンシー、大学の掲示板、地方新聞の求人広告、インターネット上の多くの求人サイトでも仕事を見つけることができます。

3.4 留学後もドイツに残るには？

ドイツでの生活がとても気に入り、大学卒業後も引き続きドイツに残りたいと思うかもしれません。それも可能です。

外国人学生の大多数は学業を終えた後も当面はドイツに残ります。1年後もドイツに残っているのは約3分の2、5年後もほぼ半数がまだドイツに残っています。学業を終えてから10年後でも、元留学生のほぼ40%が依然としてドイツに住んでいます。このうち約3分の1は雇用目的の滞在許可を取得しており、ドイツ国籍を取得している元留学生の割合も3分の1にのびります。

卒業後にドイツに残って働く場合にどのような規則が適用されるのか、またドイツで仕事を得る可能性を高めるにはどうすればよいのかを見てみましょう。



3.4.1 関係する法律

この場合も、EU 又は EEA の国の出身者はドイツ市民と同様、ドイツで自由に働くことができます。

しかし、それ以外の国の出身者の場合は、規則が異なります。大学を卒業すると、滞在許可を最大 18 か月間延長することができます。この間に、取得した学位に合った仕事を探すことができます。ただし、この期間の生活費が用意できること、及び健康保険に加入していることを証明する必要があります。

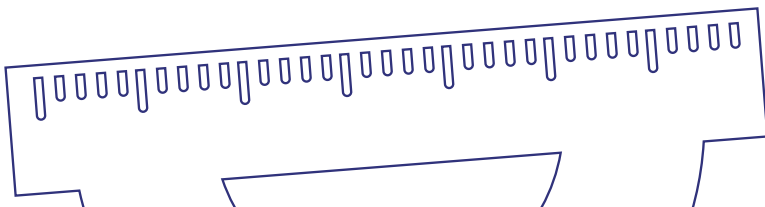
この期間はどのような仕事でも行うことができます。

この 18 か月の間に適切な仕事が見つかった場合は、就労目的の滞在許可を取得できます。2024 年 3 月からは、就職活動において大学での専攻分野に縛られなくなります。つまり、仕事は、必ずしも大学の学位に関連している必要がなくなりました。しかし、医師など法律により規制された職業に就く場合や、EU ブルーカードを受け取る場合など、例外があります。



ヒント：大学を卒業すると、高度なスキルが求められる職に応募できます。

一定の条件はありますが、2 年間の雇用後、永住許可を受けてドイツに永住することも可能です。2023 年、連邦政府は、高度人材がドイツで仕事を見つけること、及び、定住しやすくすることを目的とした法律の改正を決定しました。これらの新しい規則はそれぞれ 2023 年と 2024 年に施行されます。詳細については連邦政府の公式ポータル [Make it in Germany](http://www.make-it-in-germany.com/en) をご覧ください。 www.make-it-in-germany.com/en





EU ブルーカードのヒント：

EU ブルーカードの申請については 2023 年 11 月から新しい条件が適用され、基準（大学卒業資格や具体的な採用通知など）が継続的に調整されています。人手不足の職種リストの更新も行われています。現在の全体的な条件については、www.bamf.de/bluecard でご確認ください。

3.4.2 ドイツでの就職の可能性

現在、ドイツではこれまでにないほど売り手市場になっており、これは、大学を卒業した方にとっても同様です。

学位を取得した専攻分野によっても可能性は異なります。医師は、病院でも個人の医院でも特に需要が高まっています。近い将来多くの医師がリタイアすると見込まれているため、この傾向は今後も続くでしょう。すでに東部の連邦州では、家庭医を引き継ぐ医師を見つけることが困難になっています。また、エンジニア、IT スペシャリスト、自然科学者も切実に必要とされています。

ドイツでは中小企業が大きな役割を果たしています。ドイツのほぼすべての企業がこのカテゴリに属しているため、労働市場においても重要な位置を占めています。民間企業で働く人のほぼ半数がそうした中小企業に勤めています。したがって、仕事を探す際には、中小企業の求人広告に注目してください。ドイツには大企業が少なく、高収入のポジションをめぐる競争は非常に厳しいです。

隠れたチャンピオン

ドイツは隠れたチャンピオンの国だと言えます。隠れたチャンピオンとは、あまり有名ではないものの、その分野において市場のリーダーである企業を指します。ほとんどが昔から続く家族経営の企業であり、多くの場合、地方に拠点を置いています。

学位を得た専攻分野に関わらず、ドイツ語力があれば、仕事を得られる可能性が高まります。ドイツ語が分からなければ医師として働くことはできませんし、他の多くの職業でも同様です。したがって、大学で学んでいる間にドイツ語も勉強しておくことが重要です。唯一の例外が研究機関や大手国際企業で働く場合で、ここでは日常的に英語が使用されることが多いため、英語力があれば大丈夫でしょう。しかし、大学生であっても社会人であっても、基本的なドイツ語力がなければ日常生活は不便になるでしょう。



外国人高度人材向けポータル

www.make-it-in-germany.com には、ドイツで働きたいと考える外国人高度人材にアドバイスを提供するポータルがあります。ドイツでの職探しや滞在許可の種類に関する幅広い情報が記載されています。このサイトにはまた、特定の職種を検索できる求人情報もあります。このポータルはドイツ連邦政府により運営されています。

3.5 困ったとき

ドイツでどれだけ快適に過ごしていても特に外国の環境においては、大学での勉強は常にハードです。そのためもし問題が発生した場合にどこに相談すればよいかを知っておくとよいでしょう。この章ではそれについて説明します。

3.5.1 病気になった場合

大学に入学するには健康保険に加入していることを証明する必要がありました。したがって、体調が悪くなった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。ドイツには、最新の標準にしたがって治療を行う優れた医師が大勢います。診察費用は健康保険でカバーされます。薬局もたくさんあり、そこで健康についてアドバイスを受けることも、薬を処方してもらうこともできます。医師の処方箋なしに薬局で直接購入した薬の代金は自分で支払わなければなりません。

病気になった場合の最初の連絡窓口は通常、Hausarztと呼ばれる家庭医（一般開業医）です。家庭医は風邪など一般的な軽度の病気を治療し、必要な薬を処方してくれます。薬局で少額の値段を支払ってその薬を受け取ることができます。

ただし、家庭医が診察を受け付けているのは平日のみです。週末に体調が悪くなり、月曜を待たずに医師の診察を受けたい場合は、Bereitschaftspraxis と呼ばれる休日急病診療所に行くのがよいでしょう。このような診療所は多くの都市に設けられています。オンラインでBereitschaftspraxis と、住んでいる都市の名前とを入力して近くの休日急病診療所を探るか、116 117 に電話してください（www.116117.de/de/englisch.php）。住んでいる都市に休日急病救急診療所がない場合は、直接病院に行ってください。病院は緊急時の最初の連絡先でもあります。特に危険な状態の場合は、112 に電話して救急車を呼んでください。この費用も健康保険でカバーされます。

注意：緊急ではないがすぐに医師に診てもらいたい場合は、休日急病救急診療所に行ってください。本当に緊急の場合は、すぐに地元の病院に行くか、救急車を呼んでください。

専門医の診察も保険でカバーされます。家庭医からの紹介で専門医を受診する場合も、自身で直接専門医に予約する場合があります（医療分野によります）。例えば、歯が痛い場合や歯科検診が必要な



ヒント：ドイツでは軽度の病気はまず家庭医の診療を受けることになって
いますので、家庭医を探しておいてください。近くの家庭医は [www.kbv.
de/arzt suche](http://www.kbv.de/arzt suche) で検索できます。

場合は、自身で歯科医院に直接予約することができます。専門医の予約には時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

ドイツ語がまだそれほど上手でないため医者に行くのが不安な方もいるでしょうが、通常は心配ありません。ドイツのほとんどの医師は英語が上手ですし、英語以外の外国語を話せる医師もいます。それでも不安な場合は、大学の International Office に相談し、医者に行き通訳をしてくれる人を探してもらうこともできます。

3.5.2 心理的ストレスの対処

故郷から長期間離れ、新しい環境にうまくなじめないとホームシックになる可能性もあります。言語や環境に慣れない場合、大学での勉強も大きなストレスとなるかもしれません。それはまったく普通のことです。

しかし、ストレスを感じていて、そのために健康や学業に悪影響が出ていると感じる場合は、専門家の助けを求めてください。それには次のような多くの方法があります。

- 大学の多くは、心理カウンセリングやアドバイスセンターを提供しています。大学によっては、タイムマネジメントなど大学における一般的な問題に関するワークショップなども提供しています。個人カウンセリングを受けることもできます。そのようなカウンセリングは通常、心理学又は社会科学の学部により行われます。また、学生相談サービスセンター、又は International Office によって行われることもあります。
- 一部の学生互助会 (Studentenwerk 又は Studierendenerk) では心理カウンセリングも行っています。詳細は以下を参照してください。 www.studierendenwerke.de/en/topics/counselling-and-advisory-services/psychological-counselling-services
- 最初のステップとしてあなたの家庭医と話すことも良いでしょう。
- もちろん、心理療法士に直接連絡することも可能です。ただし、その費用が必ずしも保険でカバーされるわけではありませんので事前に確認してください。また、多くの診療所は予約が非常に込んでおり、数か月待たないと予約が取れないこともあります。

そして最後に重要なことですが、気分が落ち込まないようにするために、自分でできることはたくさんあります。最も重要なことの一つは、自分自身を孤立させず、社会的な面も含めて積極的に行動することです。他の学生と会い、必要に応じて自分が感じている困難について話してください。問題について話すだけでも役に立ちます。こちらをご覧ください：www.daad.de/en/studying-in-germany/advisory-service/psychological-wellbeing/

3.5.3 日常生活における安全

国際的に比較するとドイツは非常に安全な国です。例えば、軽犯罪や身体的危害に関しては、ドイツは世界のあらゆるランキングでかなり低い位置にあります。ドイツのほとんどの人は、夜に一人で路上にいても安全だと感じています。しかし何かが起こった場合は、110番で警察に通報してください。信頼でき、親切で、昼夜を問わず対応してくれます。

治安状況が良好であっても、不必要なリスクを冒すべきではありません。夜に暗くて人通りの少ない通りや公園を一人で歩くようなことはしないでください。また、地元で安全に注意が必要なエリアがないかどうか他の学生に尋ねてください。International Officeでも安全に関連する情報を提供しています。

自国の領事館や大使館に問い合わせることもできます。ドイツにあるあなたの国の領事館や大使館は連邦外務省のウェブサイトに掲載されています。

www.auswaertiges-amt.de/de/ReiseUndSicherheit/vertretungen-anderer-staaten

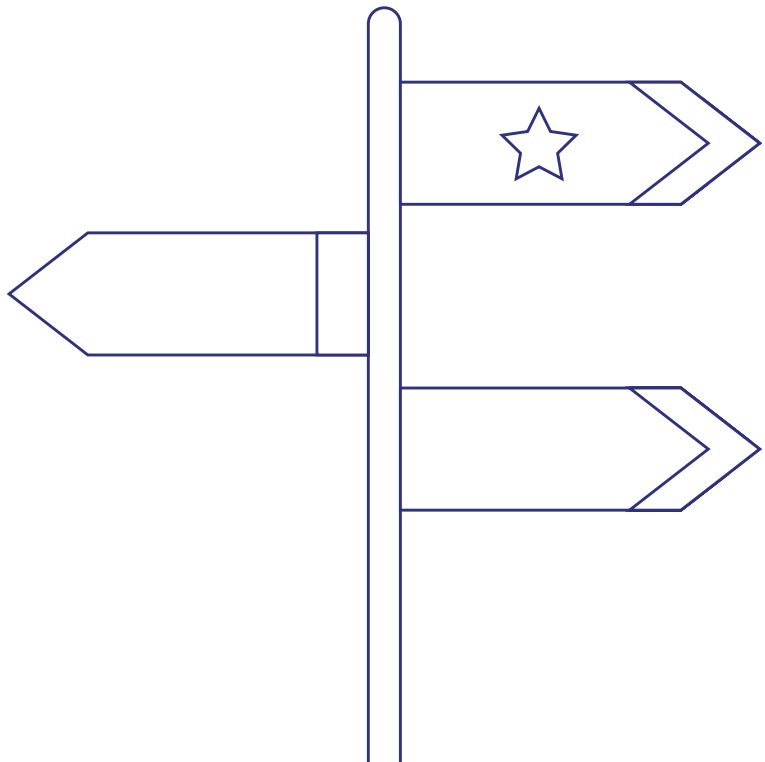
さあ、ドイツの大学に向けて出発！

ドイツの大学や現地での勉強について、及び、外国人学生の出願について基本的なことが分かったと思います。また、ドイツでのスタートを成功させ、その後のキャリアを築くためのいくつかのアドバイスもお伝えしました。

実際に始めるかどうかはあなた次第です。このパンフレットはあなたのガイドとして役立ちますが、個人的な相談に代わるものではなく、個別の質問をすべて解決するものではありません。そのため、興味がある場合、又は質問がある場合は、まずあなたの国の DAAD 事務所に相談してください。

外国人学生向けの詳しい情報を掲載した DAAD のパンフレットは、www.daad.de/en/studying-in-germany/advisory-service/publications/ でご覧いただけます。

ドイツ留学があなたにとって実り豊かで新しい経験に満ちた旅となりますよう、心よりお祈りしています。幸運を！



統計：ドイツの大学で学ぶ外国人学生

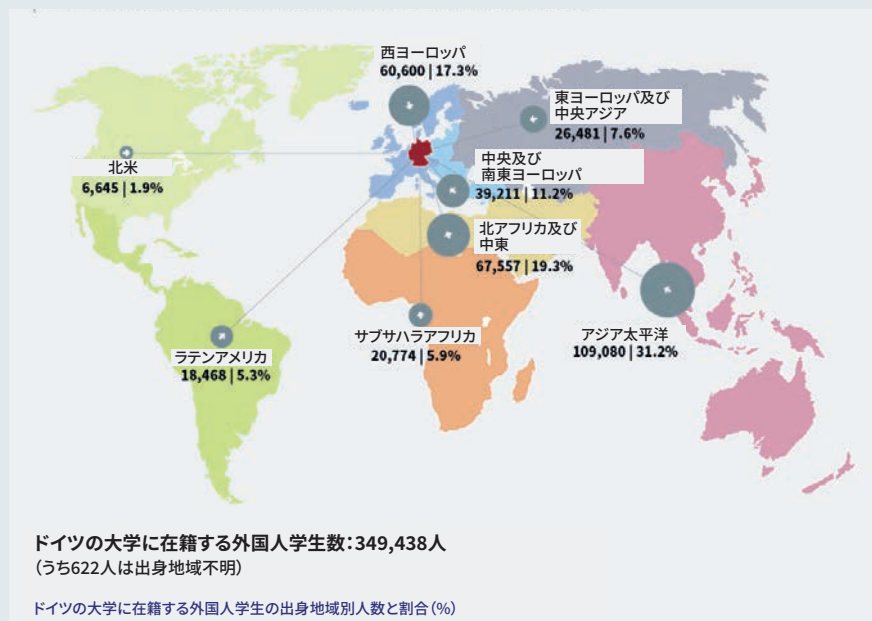
ドイツの大学の学生（2021/2022 年冬学期）

ドイツ人学生	2,501,351 人
外国人学生 *	440,564 人
ドイツの高校卒業資格を 持つ外国人学生	91,126 人
外国の高校卒業資格を 持つ外国人学生	349,438 人
学生総数	2,941,915 人

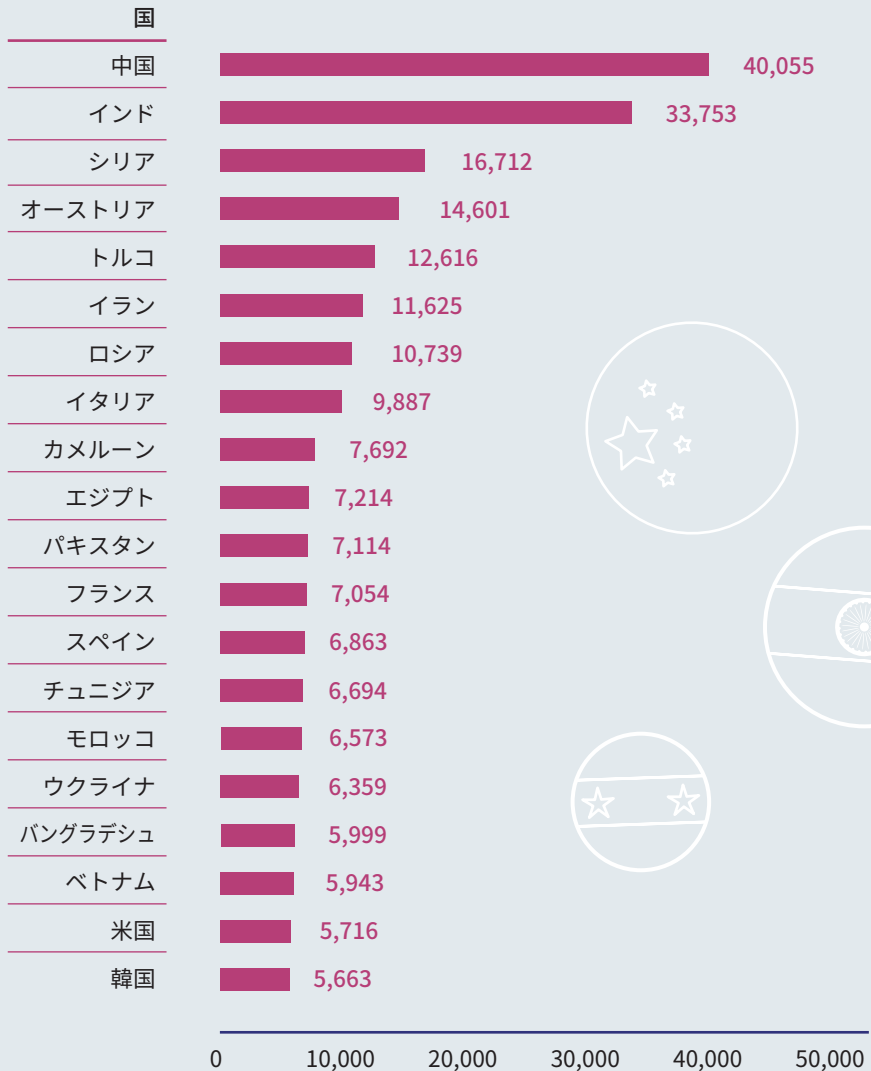
* 外国人学生には、大学入学資格をドイツ又は外国のドイツ人学校で取得した Bildungsinländer と、大学入学資格を外国の学校で取得した Bildungsausländer とが含まれます。

数値は Creative Commons Licence CC BY-SA 4.0 に基づき、DAAD と DZHW との共同出版物である Wissenschaft weltoffen kompakt 2023 からの引用

ドイツの大学に在籍する外国人学生の出身地域（2021/2022 冬学期）

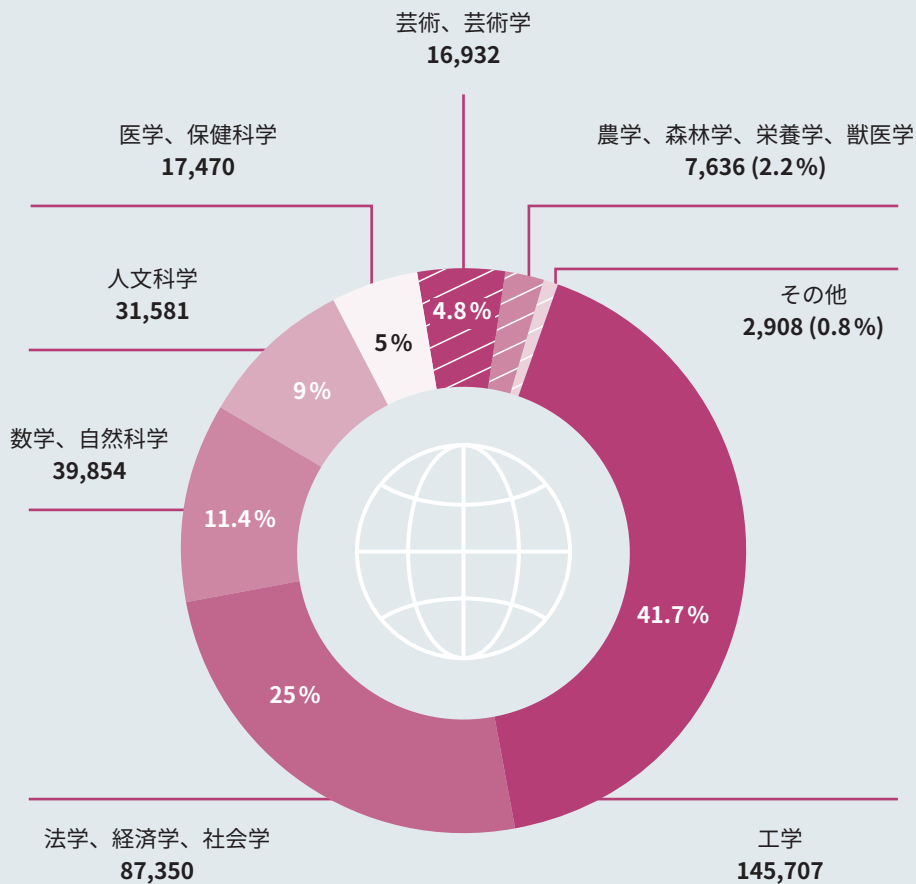


出身国別外国人学生数（2021/2022年冬学期）

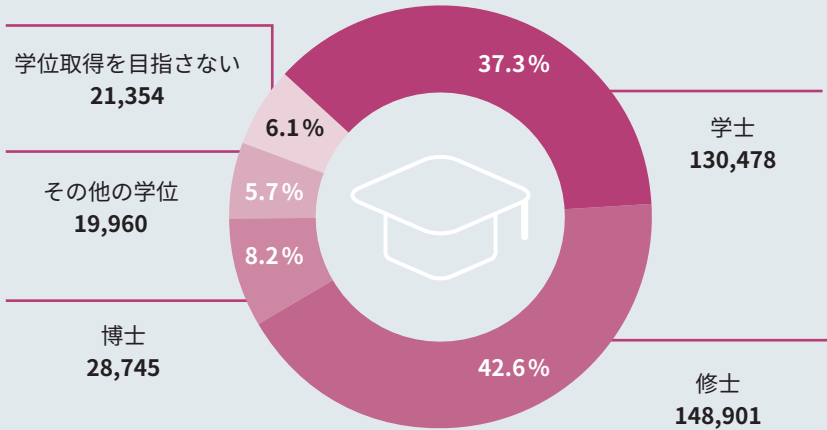


統計：ドイツの大学で学ぶ外国人学生

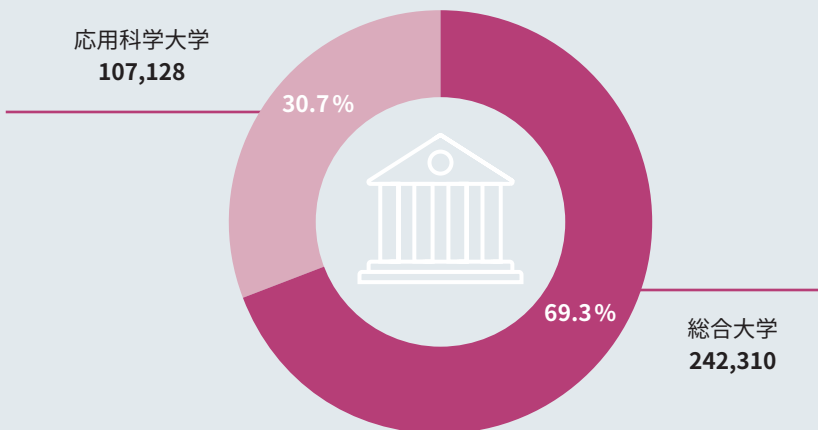
外国人学生に人気のある科目グループ
(2021/2022 年冬学期)



学位別外国人学生数
(2021/2022 年冬学期)



大学種類別外国人学生数
(2021/2022 年冬学期)



DAAD について：目標、活動、プログラム

DAAD はドイツの大学と学生団体とにより運営される機関であり、1925 年の設立以来、国内外で約 290 万人の大学生及び研究者を支援しています。DAAD は奨学金の提供の他にもドイツの大学の国際化の促進、海外でのドイツ語の研究と普及、発展途上国の効率的な大学設立の支援、教育政策、対外的な学術政策、開発政策に関する助言などを行っています。

DAAD の本部はボンにあります。また、ベルリンにも連絡事務所を構えており、有名なベルリン芸術家プログラムはここが担当しています。DAAD の在外事務所、インフォメーションセンター、インフォメーションポイントのネットワークは、すべての大陸の最も重要なパートナー国との関係を維持し、現地で助言を行っています。

DAAD のプログラムと目標

„Change by exchange “ という標語は、将来に向けて速やかな対処が求められる問題の答えを見つけるグローバルコミュニティの形成に貢献するという DAAD の姿勢を表しています。DAAD は国際化とグローバルな責任を推進します。独立した機関として、それぞれの活動を行うさまざまな関係機関をつなげる役割があります。世界を変える主体となるのは、日々国境を越えて研究に取り組む大学生や研究者、そして彼らの取り組みを後押しする大学です。

2022 年、DAAD の助成を受けた人の数は EU プログラムを含めて世界中で 140,00 人以上に上りました。助成の内容は、若い大学生向けの 1 年間の海外留学、博士号取得、インターンシップ、客員講師、実情調査、海外での大学設立まで多岐にわたります。DAAD はまた、マーケティングサービス、出版物、イベント、トレーニングを通じてドイツの大学の国際活動をサポートしています。



目標を実現のための DAAD の 3 つの戦略的行動

1

**「あらゆる国において
可能性を持つ人を
認識して支援」**

ドイツ及び世界の優秀な人々が、あらゆる学術レベルにおいて優れた教育と研究、専攻分野における専門教育、及び異文化体験を手に行けるよう個人向けの助成を行います。

2

**「戦略的学術
ネットワークの強化」**

ドイツ及び外国の大学が、国際的なパートナーシップを構築し、学術ネットワークを通じて支援を行い、それによりグローバルな課題の解決に貢献できるよう支援します。

3

**「専門知識により
国際関係に貢献」**

DAAD は、大学及び学術における国際化に関して現在起こっている議論における先導者として、また政治及び市民社会の意思決定における行動主体として自らを位置づけています。

アドレスとリンク集

ドイツ学術交流会 (DAAD) ボン本部

Kennedyallee 50
D-53175 Bonn/Germany
Tel. +49 (228) 882-0
Fax +49 (228) 882-444
postmaster@daad.de
www.daad.de/en

ベルリン事務所

Deutscher Akademischer
Austauschdienst WissenschaftsForum
am Gendarmenmarkt
Markgrafenstraße 37
D-10117 Berlin/Germany
Tel. +49 (30) 20 22 08-0
Fax +49 (30) 20 41 267

DAAD 東京事務所

107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56
Tel. 03-3582-5962
daad-tokyo@daadjp.com
www.daad.jp

ドイツの大学で学ぶことについての総合情報

- www.study-in-germany.de/en
- www.daad.de/en

大学の課程についての一般情報

- www.myguide.de/en
- www.study-in-germany.de/en
- www.daad.de/study-programmes
- www.studienwahl.de/en
- www.universityranking.de
- www.daad.de/international-programmes

博士号取得について

- www.research-in-germany.de/phd
- www.phdgermany.de/en
- www.gerit.org/en (German Research Institutions)
- www.dfg.de/gk/en (research training groups)
- www.mpg.de/de/imprs (International Max Planck Research Schools)
- www.daad.de/international-programmes

オンラインで学ぶ

- www.daad.de/study-programmes (distance studies で検索)
- www.daad.de/online-programmes (Mode of study でオンラインの度合いが選べる)

大学入学資格

- www.daad.de/requirements
- www.myguide.de/em
- www.anabin.de (ドイツ語のみ)
- www.daad.de/preparatory-courses/
- www.testas.de/en/index_en.htm
- www.hochschulkompass.de/studium-interessentest.html (ドイツ語のみ)
- www.studienwahl.de/themen-des-monats/testverfahren (ドイツ語のみ)
- www.tu9.de/en/study/orientation-guides/

ドイツ語力試験

- www.sprachnachweis.de
- www.testdaf.de (ドイツ語のみ)
- www.goethe.de/en/spr/kup/tsd.html
- www.onset.de/en/language-placement-test-english-onset/

出願

- www.daad.de/applying
- www.uni-assist.de/en
- www.hochschulstart.de (ドイツ語のみ)

ビザ

- www.auswaertiges-amt.de/en
- www.diplo.de/visa

奨学金

- www.funding-guide.de
- eu.daad.de/de/ (ドイツ語のみ)
- erasmus-plus.ec.europa.eu
- www.deutschlandstipendium.de/deutschlandstipendium/de/services/english/english_node.html
- www.fes.de/studienfoerderung (ドイツ語のみ)
- www.kas.de/en/web/begabtenfoerderung-und-kultur/home
- www.boell.de/en/stipendien
- www.freiheit.org/
- www.hss.de/stipendium (ドイツ語のみ)
- www.rosalux.de/en/foundation/studienwerk/study-scholarships

住居探し

- www.daad.de/accommodation
- www.daad.de/accommodationfinder
- www.jugendherberge.de/en
- www.hostelbookers.com
- www.wohnenfuerhilfe.info (ドイツ語のみ)
- www.internationale-studierende.de/en/prepare-your-studies/accommodation
- www.wg-gesucht.de
- www.immobilienscout24.de (ドイツ語のみ)
- www.immowelt.de (ドイツ語のみ)

相談窓口案内

- www.daad.de/io (international offices)
- www.internationale-studierende.de/en (German student unions)
- www.study-in-germany.de/en
- www.facebook.com/StudyinGermany
- www.instagram.com/study.in.germany_land.of.ideas
- www.youtube.com/@StudyinGermany_de

ドイツ語を学ぶ

- www.summerschools.de
- www.goethe.de/en
- www.deutsch-uni.com/en
- learngerman.dw.com
- www.iwdl.de („Ich will Deutsch lernen”)
- www.deutsch.info
- www.pasch-net.de/lernmaterial (ドイツ語のみ)

インターンシップ

- www.daad.de/internship
- www.iaeste.or.jp
- www.aiesec.de (ドイツ語のみ)
- traineeships.elsa.org

大学在学中のアルバイト及び卒業後の就職

- www.daad.de/job
- www.study-in-germany.de/en/germany/everyday-life/work
- www.arbeitsagentur.de/en
- www.make-it-in-germany.com/en
- www.bamf.de/bluecard

参考になるその他の情報

- www.study-in-germany.de/en/community
- www.daad.de/en/studying-in-germany/advisory-service/publications/

索引

Accommodation (住むところ)	40	Higher education entrance examination (大学入学資格試験)	21
Applying (出願)	20	Higher education entrance qualification (大学入学資格)	20
Bachelor's degree (学士)	15	Hybrid study programme (ハイブリッドコース)	18
Cafeteria (学食)	34	Immigration office (外国人局)	37、53
Course catalogue (講義目録)	55	International Office	50
Credit Point (単位)	56	International study programmes (インターナショナルプログラム)	18
Doctoral programme/PhD (博士号取得)	15	Job (アルバイト)	63
Doctoral programme/PhD – individual	15	Joint Degree Programme (ジョイントディグリープログラム)	18
Doctoral programme/PhD – structured	15	Language course (語学コース)	23、62
DSH (German language examination for higher education admission)	22	Language skills / Language proficiency certificate (語学力・語学証明書)	22、24
Dual degree programme (デュアルディグリープログラム)	18	Lecture (講義)	56
ECTS	56	Letter of acceptance 合格通知	31
Enrolling (学籍登録)	51	Living costs (生活費)	31
Erasmus+ (エラスムス・プラス)	36	Master's degree (修士)	15
Exams (試験)	56	Mental health (メンタルヘルス)	69
Forms of classes (授業の形態)	56	Module (モジュール)	55
Funding (留学費用)	31	Numerus clausus (NC) (大学入学制限)	26
German skills (ドイツ語力)	22、62		
Health insurance (健康保険)	36		

Online study programmes (オンラインで学ぶ)	18	Student council (学生会)	58
Part-time work (アルバイト)	64	Student representatives (学生代表委員会)	58
Proof of sufficient funds (留学費用証明書)	39	Student residence (学生寮)	40
Propädeutikum/Preparatory course (準備コース)	24	Student union (学生互助会)	50
Rent (家賃)	32、42	Studienkolleg (大学入学準備過程)	21
Residence permit (滞在許可)	37	Study regulations (履修規定)	55
Residents registration office (住民登録事務課)	53	Summer courses / schools (サマーコース／サマースクール)	23、62
Safety (安全)	70	TestAS (外国人学生向け学力テスト)	24
Scholarship (奨学金)	35	TestDaF (外国語としてのドイツ語試験)	22
Semester (学期)	28	Tuition fees (授業料)	35
Semester fee (学期共済費)	12、34	Tutorial (補習授業)	56
Semester ticket (ゼメスターチケット)	34	uni-assist	27
Seminar (ゼミナール)	56	University (総合大学)	12、13
Shared flat (WG) (フラットシェア)	42	University of applied sciences (応用科学大学)	12、28
Sickness (病気)	68	Visas (ビザ)	37
State examination (国家試験)	16	Working (働く)	64、67
Stiftung für Hochschulzulassung (Foundation for university admission)	26	Work placement (インターンシップ)	63

発行者

Deutscher Akademischer Austauschdienst e. V.
Kennedyallee 50 D-53175 Bonn

Tel.: +49 228 882-0 Fax: +49 228 882-444

E-Mail: webmaster@daad.de Internet: <https://www.daad.de>

執行委員会代表権者：DAAD 会長 Prof. Dr. ジョイブラート・ムカジー
登記裁判所 ボン、登記番号 VR 2107、付加価値税 ID：DE122276332

ドイツ放送州間協定第 55 条第 2 項（§ 55 Abs. 2 RStV）に関する責任者：
Dr. カイ・ジックス Kennedyallee 50, 53175 Bonn

ドイツ学術交流会（DAAD）は、ドイツの大学と学生団体とが共同で設置している機関であり、ドイツ連邦外務省から資金提供を受けています。

Section K23 – Information on Studying in Germany

プロジェクト・コーディネーター

Kerstin Nolden, Nadia Büttner, Angela Faust, Svenja Wesemann, DAAD

編集

Content5 AG, Welfenstraße 22, 81541 München
Dr. Dagmar Giersberg, Bonn

レイアウト（独語・英語版）

DITHO Design GmbH, Köln

英語翻訳

Proverb oHG, Stuttgart

日本語版テキスト

ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所

日本語版 PDF 作成：WIP ジャパン株式会社

独語・英語版：第 8 版 2023 年 11 月

日本語版（オンラインのみ）：第 8 版 2024 年 10 月

© DAAD

写真クレジット

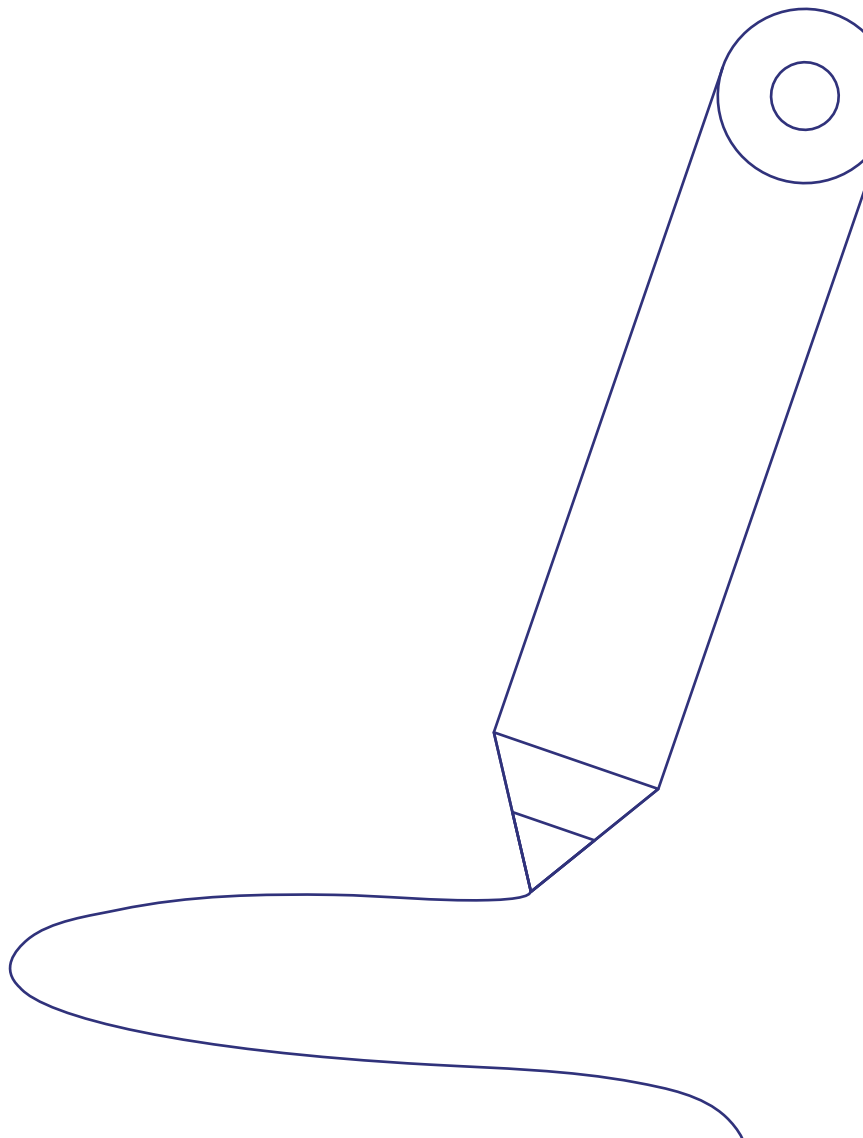
pikselstock/Adobe Stock（カバー）、BalanceFormCreative/Adobe Stock（7 ページ）、kasto/
Adobe Stock（17 ページ）、Drazen/Adobe Stock（30 ページ）、
LIGHTFIELD STUDIOS/Adobe Stock（45 ページ）、Drazen/Adobe Stock（59 ページ）

Supported by:



Federal Foreign Office







@DAADTokyo



@daad.japan



DAAD Japan